

## 1 ルータ機能切り替え

この章では、ルータ機能切り替えについて説明します。

### 1.1 概要

本ユニット起動時のルータスイッチの状態により、「ルータ機能あり + 2 ch」、「ルータ機能なし + 8 ch」の切り替えを行います。

また、ルータ機能あり + 2 ch とルータ機能なし + 8 ch の場合では、初期値及び Web 画面構成が異なります。

#### 1.1.1 相違点

表 ルータ機能切り替えによる相違点

相違点	ルータスイッチ：ON (ルータ機能あり)	ルータスイッチ：OFF (ルータ機能なし)
最大使用回線数	2 回線	8 回線
WAN 側ネットワーク	使用する	使用しない
動作モード (* )はデフォルトのモードです。	固定 IP + ルータモード / DHCP + ルータモード / PPPoE + ルータモード (* )	固定 IP / DHCP (* )
< プロトコル >		
PPPoE クライアント		×
DHCP サーバ		×
DHCP クライアント		
SNTP クライアント		×
UPnP IGD		×
UPnP CP	×	
< ネットワーク >		
DoS アタック、ステルス		
ICMP フォワーディング		×
Windows 共有フィルタ		×
QoS / TOS ビット設定可能		
QoS / 音声トラフィック優先送		×
ルータ機能 / スタティックルーティング		×
ルータ機能 / RIP バージョン 1		×
ルータ機能 / NAT / IP マスカレード		×
ルータ機能 / パケットフィルタリング		×
ルータ機能 / DNS リレーエージェント		×
< 初期値 >		
動作モード	PPPoE + ルータモード	DHCP
LAN 側 IP アドレス / サブネットマスク	192.168.1.254 / 255.255.255.0	192.168.1.252 / 255.255.255.0
最大使用回線数 (Web 画面に設定項目はありません)	2 回線	8 回線
< Web 画面 >		
Web 画面構成	Web 画面構成については、「2 .Web 保守」を参照して下さい。	

：有効、利用可能、 ×：無効、利用不可

### 1.1.2 注意事項

- (1) ルータスイッチ切り替え後は、初期化設定を行って下さい。
- (2) ルータスイッチ切り替え後に、初期化設定を行わなければ、ルータスイッチ切り替え前の設定値を保持していますが、ルータスイッチ切り替えにより設定範囲が異なる項目（ 1 ）で、値が設定範囲外の場合は、初期値となります。
  - 1 . 対象となる項目は、「動作モード」「最大使用回線数」です。  
また、設定範囲外の項目は障害ログに「局データ異常」が出力されます。

例) ルータスイッチが"OFF" (ルータ機能なし + 8ch)、動作モードが"固定 IP"での運用を、ルータスイッチを"ON" (ルータ機能あり + 2ch)に変更し起動した場合は、動作モードは"PPPoE + ルータモード"に切り替わりませんが、障害ログに「局データ異常」が出力されます。
- (3) 運用中にルータスイッチを切り替えても、ルータスイッチの状態及びルータ機能の有効 / 無効は変更されません。変更する際は、ルータスイッチを切り替えたまま、ユニットの再起動を行って下さい。

## 2 Web 保守

この章では、Web を使用した保守について説明します。

### 2.1 概要

Web 保守では、www ブラウザを使用して設定値の変更、確認、または本ユニットの動作状態を確認できます。設定に必要な www ブラウザは、フレーム表示が可能なものに限ります。(IE5.5 以降)

#### 2.1.1 WWW ブラウザの起動

Microsoft Internet Explorer を起動して下さい。

起動後に、プロキシ サーバー、セキュリティの設定を確認します。

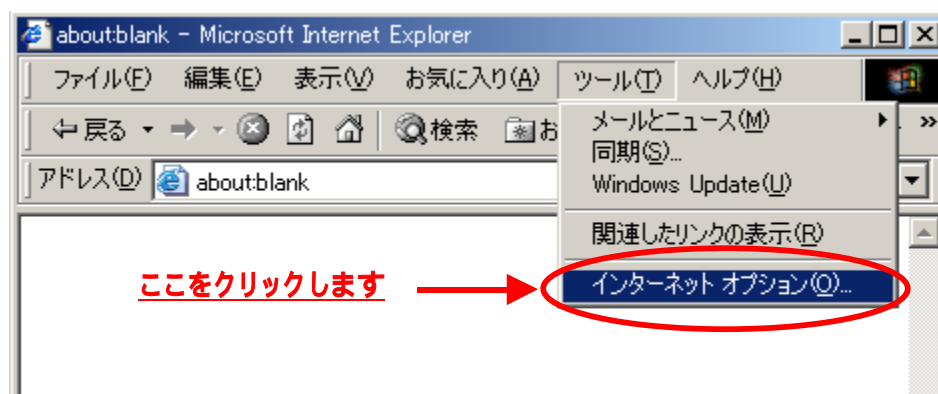
ここではバージョン 6.0 SP1 の設定方法を例に説明します。

##### (1) プロキシ サーバーの確認

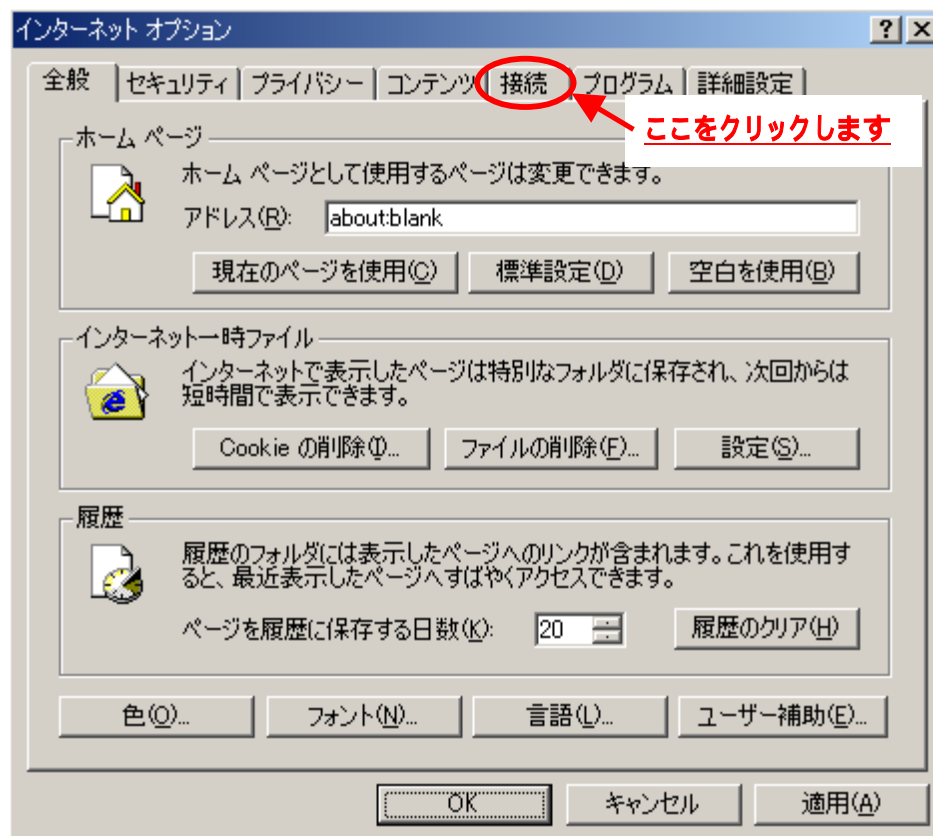
プロキシ サーバーは使用しない設定にして下さい。プロキシ サーバーを使用していると正常に接続できない場合があります。

「インターネット オプション」画面を開きます。

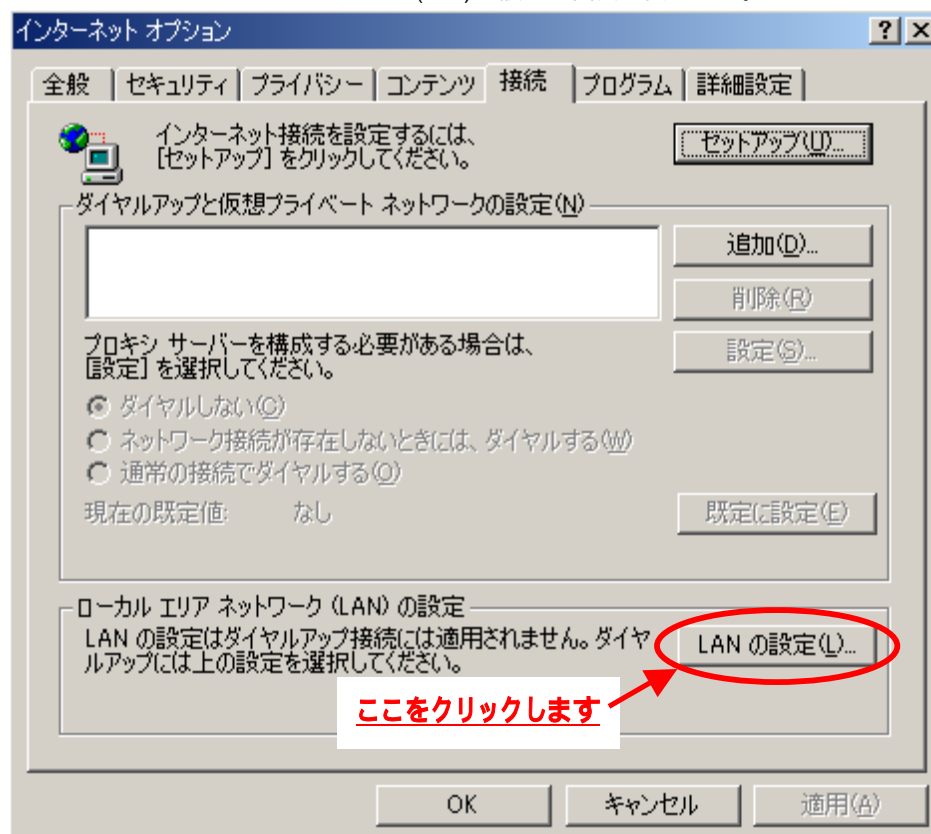
「ツール(T)」 「インターネット オプション(O)...」 にて「インターネット オプション」画面を開きます。



「接続」タブをクリックします。

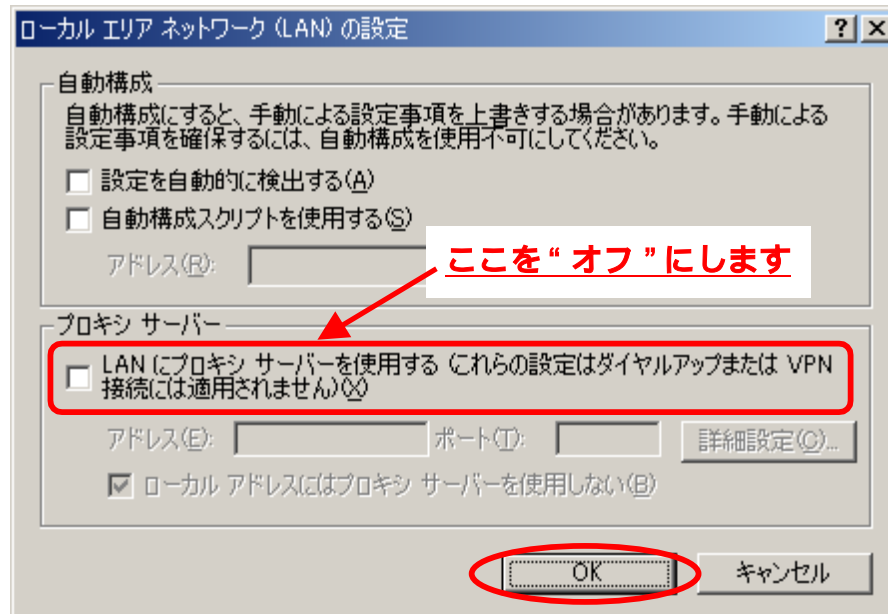


「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」画面を開きます。



プロキシ サーバーの設定を確認します。

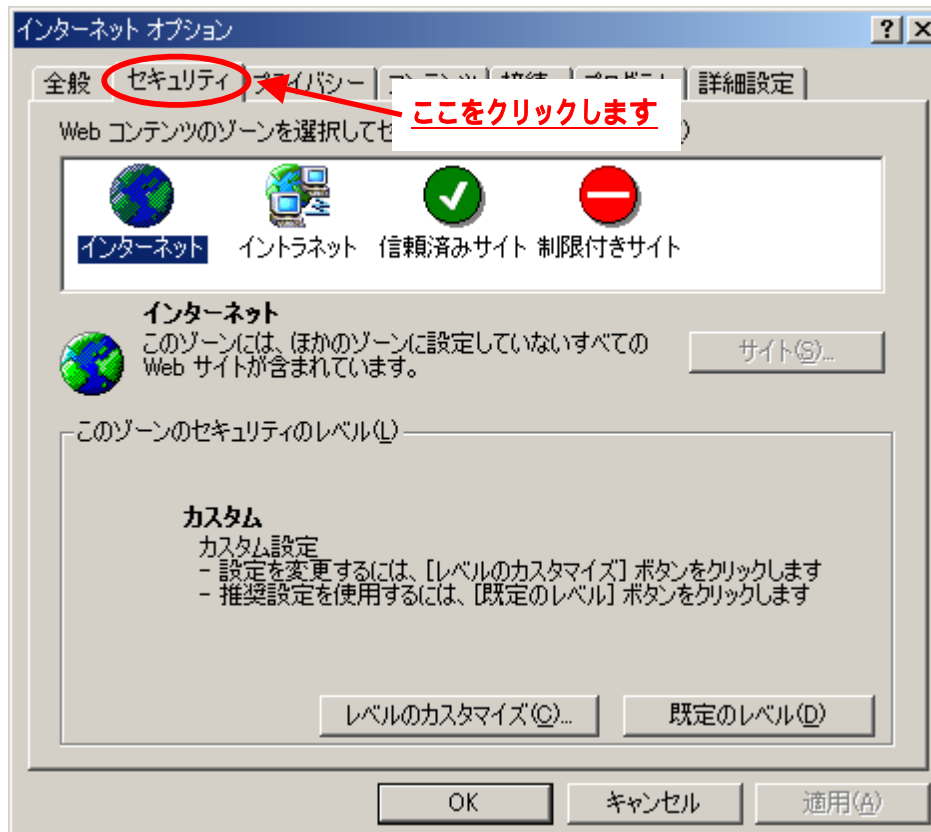
「LAN にプロキシ サーバーを使用する(これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません)(X)」のチェックボックスを「オフ」にし、**OK** ボタンをクリックして下さい。



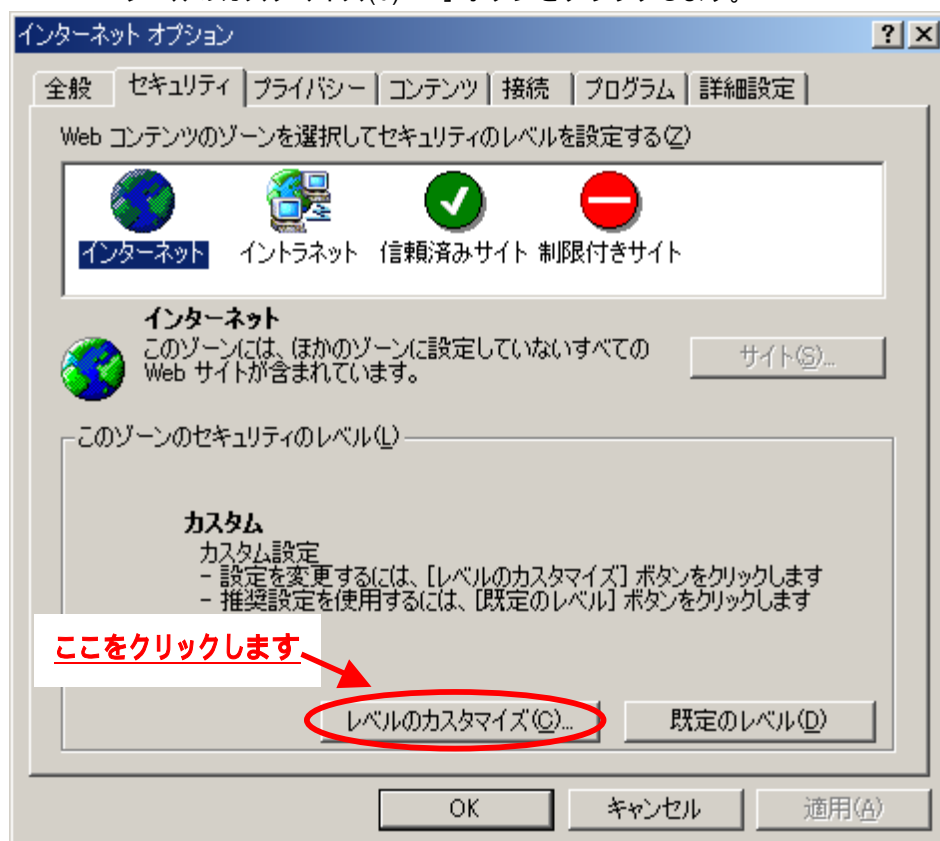
## (2) JavaScript の確認

Web 保守では、JavaScript を使用していますので、以下の手順にて JavaScript の設定を行って下さい。

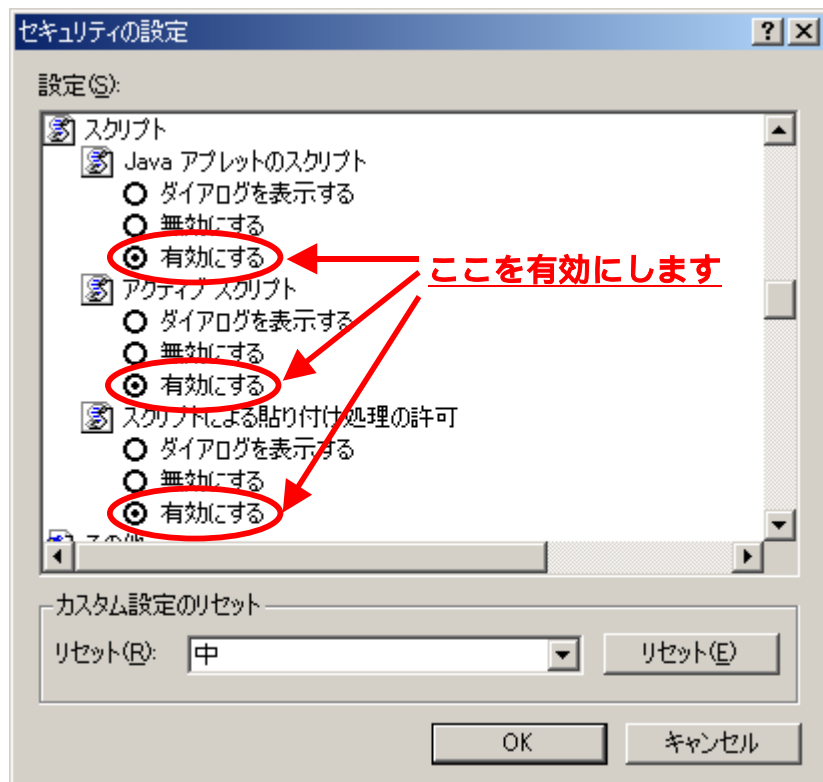
「インターネット オプション」画面で「セキュリティ」タブをクリックします。



「レベルのカスタマイズ(C)...」ボタンをクリックします。

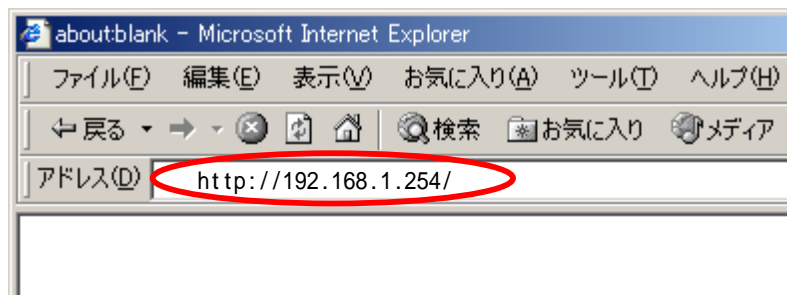


この画面の「スクリプト」配下の「Java アプレットのスクリプト」、「アクティブスクリプト」、「スクリプトによる貼り付け処理の許可」の3項目を「有効にする」に設定して下さい。

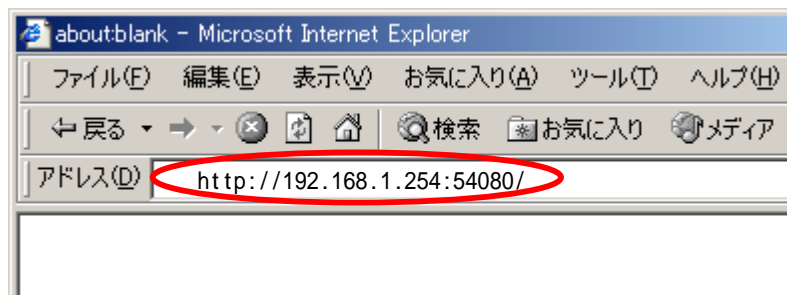


### 2.1.2 本ユニットへの接続

WWW ブラウザの設定を確認した後に、本ユニットに直接接続します。「アドレス(D)」に、本ユニットの IP アドレスを入力します。

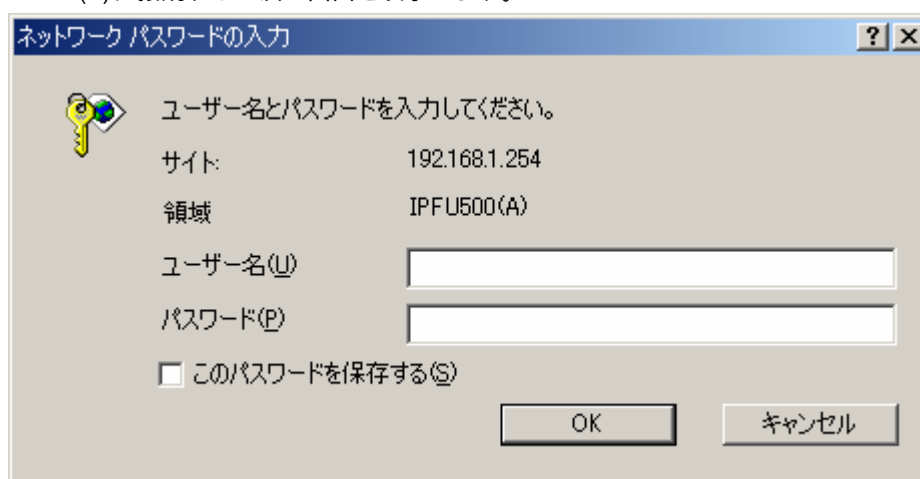


また、本ユニットの HTTP ポート番号を初期値 (80) から変更している場合は、アドレスの後ろに“ : 「変更した HTTP ポート番号」 ”を追加して下さい。例えば HTTP ポート番号を 54080 に変更している場合は、以下のように入力します。



### 2.1.3 HTTP サーバへのログイン

IPFU500(A)に接続すると次の画面を表示します。



ユーザ名とパスワードを入力後、**OK** ボタンをクリックして下さい。ユーザ名及びパスワードは大文字、小文字を別の文字として識別します。

HTTP サーバにログインすると、トップ画面を表示します。

- ・ルータ機能あり + 2ch の場合は、「2.2.1.2 標準設定」画面を表示します。
- ・ルータ機能なし + 8ch の場合は、「2.2.2.2 ネットワーク設定」画面を表示します。

**補足説明：Web 認証画面（HTTP サーバへのログイン画面）の表示について**

- ・主装置 Web 画面のメニューより本ユニットに接続した場合は、Web 認証画面は表示されません。
- ・主装置 Web 画面のメニューより本ユニットに接続した場合で、本ユニットに対する最終アクセスから 3 時間以上経過し再度アクセスした場合は、Web 認証画面を表示します。
- ・本ユニットに直接接続した場合は、Web 認証画面を表示します。しかし本ユニットに対する最終アクセスから 3 時間以内に主装置 Web 画面のメニューより本ユニットに接続されていれば、Web 認証画面は表示されません。
- ・Web 認証成功後ブラウザを閉じずに 3 時間以上経過後に、再度アクセスしても Web 認証画面は表示されません。



## 2.1.4 画面構成の説明

以下の説明は、ルータ機能あり + 2ch を例として説明します。

標準設定 ← **画面名称**

ヘルプ? (FUSION IP-Phone版) ← **ヘルプ**

← **メニュー**

IP電話設定

市外局番

SIP設定

SIPドメイン  ← **設定項目**

SIP REGISTERサーバアドレス

SIP プロキシサーバアドレス

アカウントID

パスワード  確認

PPPoE設定

ログインID

ログインパスワード  確認

反映

確認 ← **ボタン** → 送信

メニュー : メニューを選択することで、各設定画面を表示します。

画面名称 : 各設定画面の名前を表示します。

設定項目 : 各設定画面の設定項目を表示します。

ヘルプ? : ヘルプ画面を表示します。詳細は「2.1.6 ヘルプ」を参照して下さい。

ボタン : 確認、送信、反映ボタンの詳細は「2.1.7 ボタン説明」を参照して下さい。

## 2.1.5 メニュー

メニューの選択は、各設定画面の左側のメニューにマウスポインタを移動します。

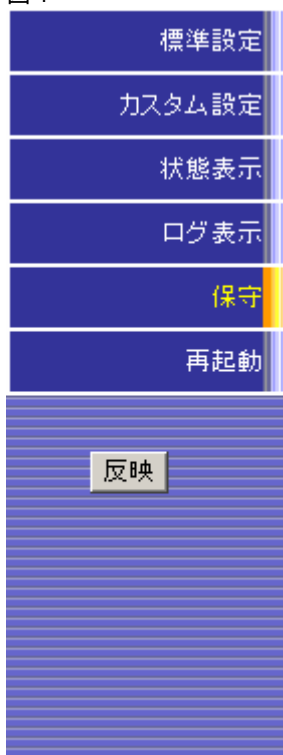
以下の説明は、ルータ機能あり + 2ch を例として説明します。



(1) 下図 1 では、マウスポインタを「保守」に移動させ、「保守」の文字色が黄色に変化し、「保守」を選択することを示しています。

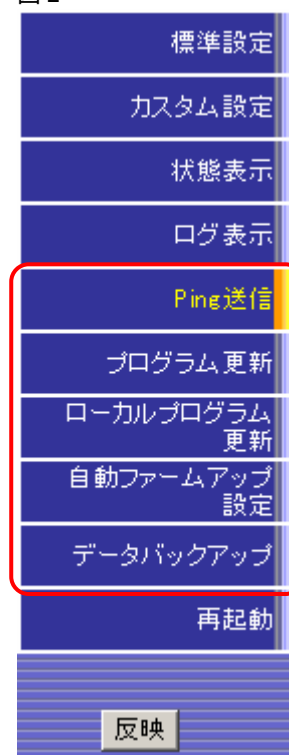
(2) 下図 2 では、下図 1 で「保守」を選択後、「保守」メニュー画面で、ポインタを「Ping 送信」に移動させ、「Ping 送信」の文字色が黄色に変化し、「Ping 送信」を選択することを示しています。

図 1



この状態でクリックすることで、「保守」のメニュー画面を表示します。

図 2



この状態でクリックすることで、「Ping 送信」画面を表示します。

### 2.1.6 ヘルプ

画面右上に表示されるヘルプボタンをクリックすると、別の画面で各設定画面のヘルプを表示します。



### 2.1.7 ボタン説明

Web 保守コンソール上で使用するボタンについて説明します。

#### (1) 確認 ボタン

Web 保守コンソール上で設定した内容が正しいか確認します。変更した内容が不正なときはポップアップメッセージが表示され、誤りのある項目にカーソルが移動します。正しい内容を再入力し、もう一度確認を行って下さい。

#### (2) 送信 ボタン

Web 保守コンソール上で設定した内容を本ユニットへ送信します。

確認ボタンをクリックし、正しい内容が入力されている場合に送信ボタンは有効になります。

#### (3) 反映 ボタン

送信ボタンのクリックにて本ユニットに送信した内容を、再起動を行って反映します。

#### (4) 追加 変更 削除 ボタン

テーブルに登録する設定画面のあるものは、追加、変更、削除ボタンによってテーブルへの追加、変更、削除を行います。

追加、変更、削除ボタンのクリックにて設定した内容を本ユニットに反映させるには、確認、送信、反映の順にボタンをクリックして下さい。

##### 1) 追加方法

該当するデータの各項目を入力して追加ボタンをクリックして下さい。

下図のようにテーブルに追加されます。

		追加	変更	削除		
方針	種別	入力	送信元IP	-> 出力	送信先IP :送信先ポート番号	
1.	ALLOW	TCP	WAN	ANYWHERE	-> LAN	192.168.1.10/24:80-80
2.	DROP	TCP	LAN	192.168.1.8/32	-> WAN	ANYWHERE:80-80
3.	DROP	TCP	LAN	192.168.1.9/32	-> WAN	ANYWHERE:20-21

##### 2) 変更方法

変更するデータをテーブルから選択します。(該当する箇所をクリックすることで上図の様に色が変わり、設定項目にその内容が反映されます。)

設定項目を変更後、変更ボタンをクリックすると、変更した内容がテーブルに反映されます。

##### 3) 削除方法

削除するデータをテーブルから選択します。

削除ボタンをクリックするとテーブルから選択した内容が削除されます。

### 2.1.8 パスワード/確認

各画面のパスワードの変更について説明します。

- (1) パスワードが設定されている場合は、パスワード/確認に 10 桁固定で "\*" が表示されます。
- (2) パスワードを変更する場合は、以下のようにパスワード/確認の "\*" で表示されている内容を全てクリアし、再度入力します。

ログイン パスワード	<input type="text"/>	確認	<input type="text"/>
------------	----------------------	----	----------------------

## 2.2 使用方法

Web 保守コンソールのご利用方法及び各メニューの詳細内容について説明します。

画面構成は下表の通りです。

また、ルータ機能あり +2ch とルータ機能なし +8ch の場合では、初期値及び画面構成が異なります。

ルータスイッチ切り替え後は、初期化設定を行って下さい。

表1 画面構成 ( ルータ機能あり +2ch )

メニュー	サブメニュー	参照
標準設定		2.2.1.2 標準設定
カスタム設定	ネットワーク設定	2.2.1.3 ネットワーク設定
	SIP 設定	2.2.1.4 SIP 設定
	IP フィルタ設定	2.2.1.5 IP フィルタ設定
	パケットフィルタ設定	2.2.1.6 パケットフィルタ設定
	DHCP 設定	2.2.1.7 DHCP 設定
	PPPoE 設定	2.2.1.8 PPPoE 設定
	NAPT 設定	2.2.1.9 NAPT 設定
	ルーティングテーブル設定	2.2.1.10 ルーティングテーブル設定
	RIP 設定	2.2.1.11 RIP 設定
	音声設定	2.2.1.12 音声設定
	優先制御設定	2.2.1.13 優先制御設定
状態表示		2.2.1.14 状態表示
ログ表示	障害ログ表示	2.2.1.15 障害ログ表示
	通話ログ表示	2.2.1.16 通話ログ表示
	トラフィックログ表示	2.2.1.17 トラフィックログ表示
保守	Ping 送信	2.2.1.18 Ping 送信
	プログラム更新	2.2.1.19 プログラム更新
	ローカルプログラム更新	2.2.1.20 ローカルプログラム更新
	自動ファームアップ設定	2.2.1.21 自動ファームアップ設定
	データバックアップ	2.2.1.22 データバックアップ
再起動		2.2.1.23 再起動

表2 画面構成 ( ルータ機能なし + 8ch )

メニュー	サブメニュー	参照
ネットワーク設定		2.2.2.2 ネットワーク設定
IP 電話設定		2.2.2.3 IP 電話設定
カスタム設定	パケットフィルタ設定	2.2.2.4 パケットフィルタ設定
	DHCP 設定	2.2.2.5 DHCP 設定 ( 詳細は「2.2.1.7 DHCP 設定」を参照 )
	音声設定	2.2.2.6 音声設定 ( 詳細は「2.2.1.12 音声設定」を参照 )
	優先制御設定	2.2.2.7 優先制御設定
状態表示		2.2.2.8 状態表示
ログ表示	障害ログ表示	2.2.2.9 障害ログ表示 ( 詳細は「2.2.1.15 障害ログ表示」を参照 )
	通話ログ表示	2.2.2.10 通話ログ表示 ( 詳細は「2.2.1.16 通話ログ表示」を参照 )
	トラフィックログ表示	2.2.2.11 トラフィックログ表示 ( 詳細は「2.2.1.17 トラフィックログ表示」を参照 )
保守	Ping 送信	2.2.2.12 Ping 送信 ( 詳細は「2.2.1.18 Ping 送信」を参照 )
	プログラム更新	2.2.2.13 プログラム更新 ( 詳細は「2.2.1.19 プログラム更新」を参照 )
	ローカルプログラム更新	2.2.2.14 ローカルプログラム更新 ( 詳細は「2.2.1.20 ローカルプログラム更新」を参照 )
	自動ファームアップ設定	2.2.2.15 自動ファームアップ設定 ( 詳細は「2.2.1.21 自動ファームアップ設定」を参照 )
	データバックアップ	2.2.2.16 データバックアップ ( 詳細は「2.2.1.22 データバックアップ」を参照 )
再起動		2.2.2.17 再起動 ( 詳細は「2.2.1.23 再起動」を参照 )

**(注意!!)**

Web 保守コンソールで設定を変更した場合は、Web ブラウザを閉じる前に**反映**ボタンをクリックし、設定内容を本ユニットに反映させて下さい。

## 2.2.1 ルータ機能あり + 2ch の場合

以下はルータ機能あり + 2ch の場合について説明します。

## 2.2.1.1 メニュー

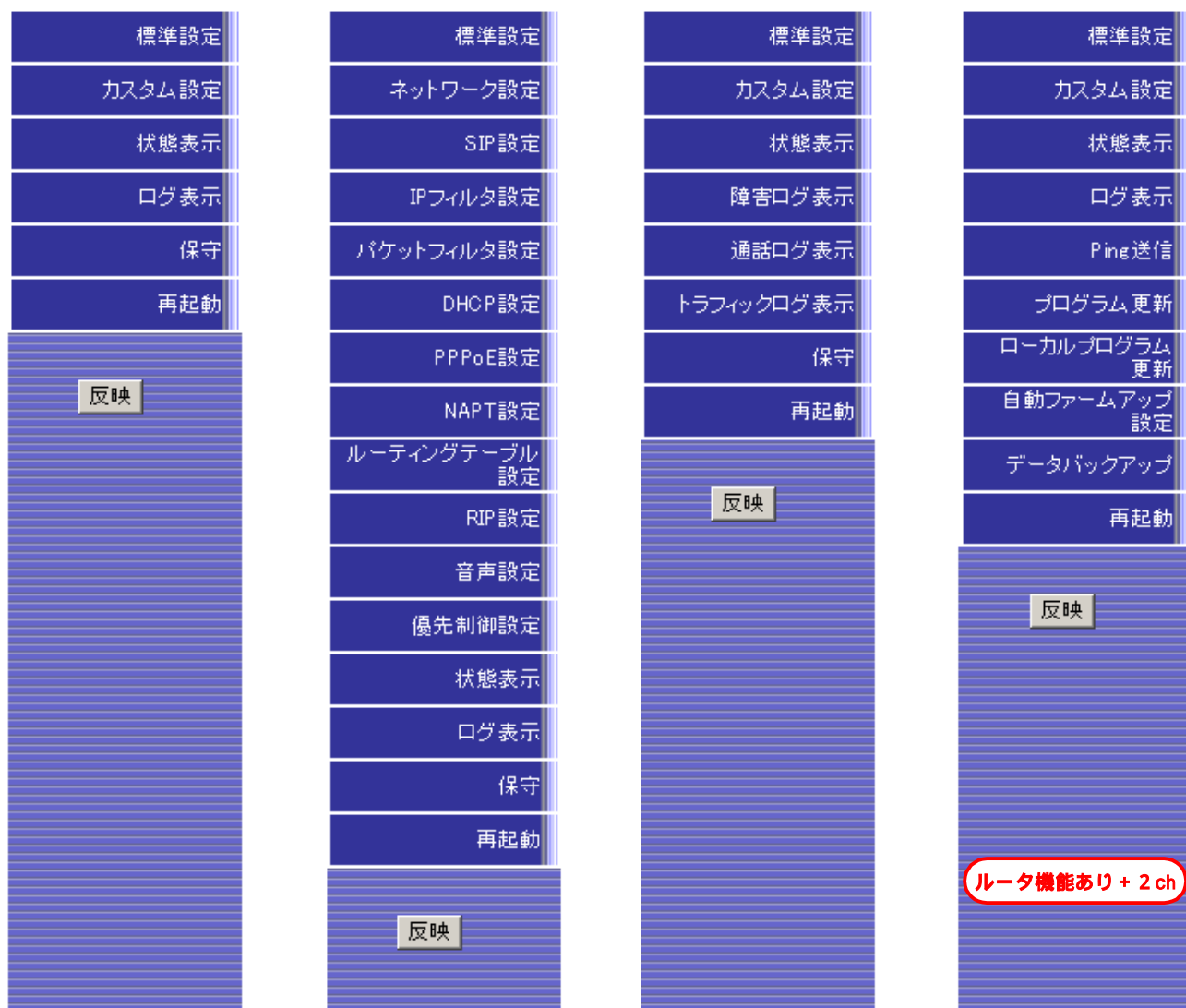
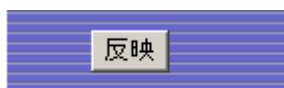


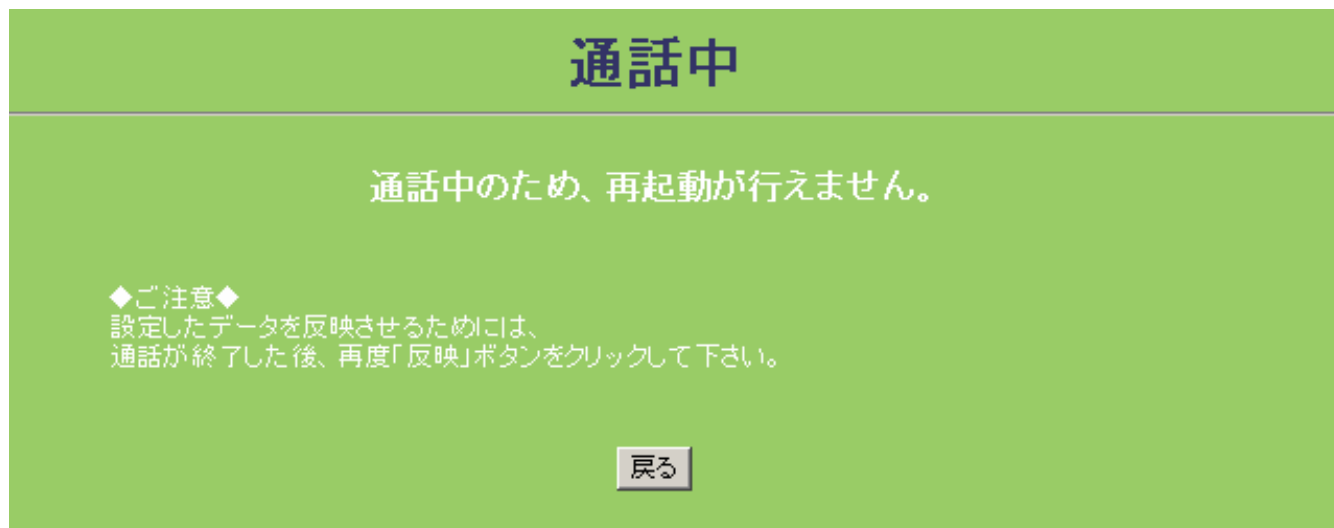
表 ルータ機能あり + 2ch メニュー詳細

表示項目	説明
<ルータ機能あり + 2ch メニュー>	
トップメニュー	ログイン後、「標準設定、状態表示、再起動」クリック時、再起動後に表示するメニューです。
カスタム設定メニュー	「カスタム設定」クリック時に表示するメニューです。
ログ表示メニュー	「ログ表示」クリック時に表示するメニューです。
保守メニュー	「保守」クリック時に表示するメニューです。
<ボタン>	
反映	「反映」ボタンをクリックすると、設定したデータを本ユニットへ反映させ、再起動を行います。

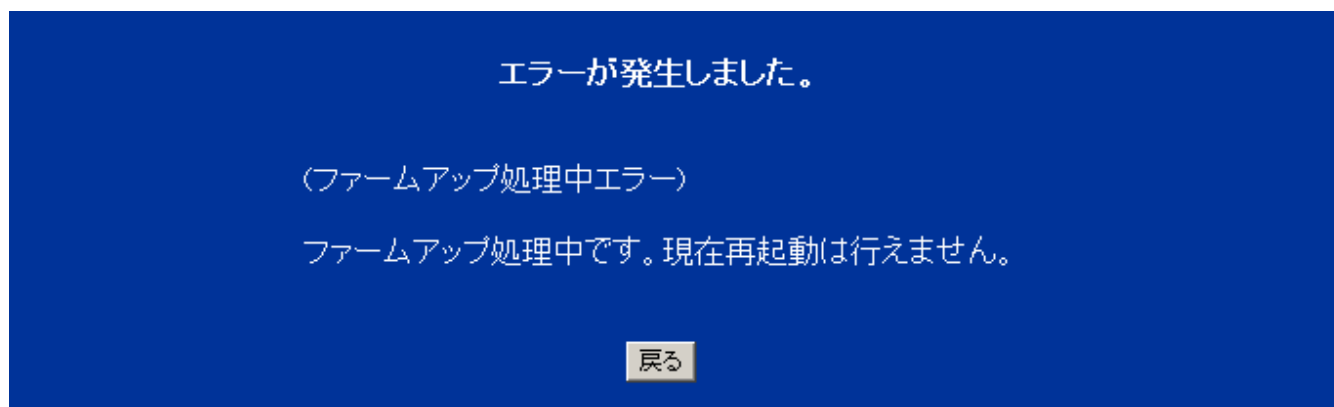
1. 各設定画面にて、**送信**ボタンをクリックし本ユニットに送信した内容を反映する場合は、**反映**ボタンをクリックします。



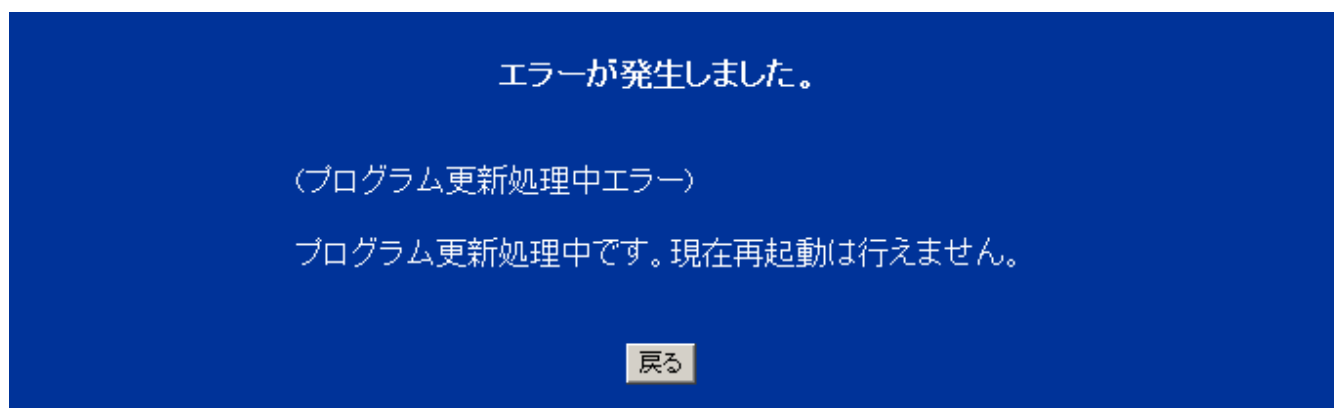
通話中の場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリックし、通話終了後に再度行って下さい。



ファームアップ処理中に「反映」を実施しようとした場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック後、トップ画面へ戻ります。

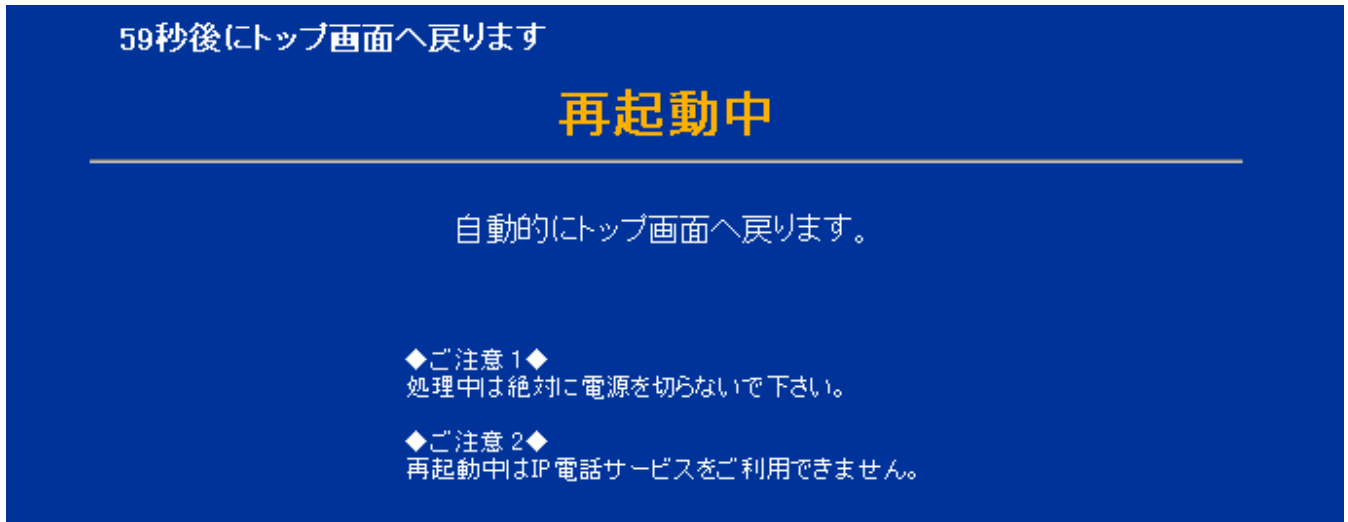


プログラム更新処理中に「反映」を実施しようとした場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック後、トップ画面へ戻ります。





2.実行中は以下の画面を表示します。しばらくお待ち下さい。



**(注意!!)** この間、本装置の電源を切らないで下さい。

3.再起動を終了するとトップ画面に戻ります。

## 2.2.1.2 標準設定

## 標準設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## IP 電話設定

市外局番

## SIP 設定

SIPドメイン

SIP REGISTERサーバアドレス

SIP プロキシサーバアドレス

アカウントID

パスワード

確認

## PPPoE設定

ログインID

ログイン パスワード

確認

確認

送信

表 標準設定項目詳細 (1/2)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<IP 電話設定>			
市外局番	市外局番を設定します。	半角文字で「0~9」「*」「#」 (6桁以内)	(空白)
<SIP 設定>			
SIP ドメイン	SIP ドメインを設定します。	半角英数字、「-」「.」(ハイフン、ドット)からなる1~63文字以内。 (ただし、先頭と最後、及びドットの前後は半角英数字であること。)	(空白)
SIP REGISTERサーバアドレス	SIP 用 REGISTER サーバアドレスを設定します。	(1) IP アドレスで入力 0.0.0.1 ~ 255.255.255.255 (2)ドメイン名で入力	(空白)
SIP プロキシサーバアドレス	SIP 用プロキシサーバアドレスを設定します	半角英数字、「-」「.」(ハイフン、ドット)からなる1~63文字以内。 (ただし、先頭と最後、及びドットの前後は半角英数字であること。)	(空白)
アカウント ID	アカウント ID を設定します。	0x22「」、0x2C「,」、および0x3B「;」を除く ASCII コード 0x21~0x7E の範囲で1~32文字以内	(空白)
パスワード	パスワードを設定します。	0x22「」、0x2C「,」、および0x3B「;」を除く ASCII コード 0x21~0x7E の範囲で1~63文字以内	(空白)
パスワード確認	確認のため、再度「パスワード」を設定します。	0x22「」、0x2C「,」、および0x3B「;」を除く ASCII コード 0x21~0x7E の範囲で1~63文字以内	(空白)

表 標準設定項目詳細 (2/2)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<PPPoE 設定>			
ログイン ID	接続する PPPoE サーバに登録された認証サーバ用 ID を設定します。	0x22「」、0x3B「;」を除く ASCII コード 0x21 ~ 0x7E の範囲で 1 ~ 63 文字以内	(空白)
ログイン パスワード	接続する PPPoE サーバに登録された認証サーバ用パスワードを設定します。	0x22「」、0x3B「;」を除く ASCII コード 0x21 ~ 0x7E の範囲で 1 ~ 63 文字以内	(空白)
ログイン パスワード確認	確認のため、再度「ログイン パスワード」を設定します。		(空白)

**補足説明：**パスワードを変更する場合は、パスワード/パスワード確認の"\*"で表示されている内容を全てクリアし、再度入力して下さい。

## 2.2.1.3 ネットワーク設定

## ネットワーク設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## 動作モード設定

動作モード 

## IPアドレス設定

LAN側 IPアドレス LAN側 サブネットマスク WAN側 IPアドレス WAN側 サブネットマスク DNSサーバアドレス デフォルトゲートウェイ 

## DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能 割り当て開始 IPアドレス 割り当て終了 IPアドレス 通知用 DNSサーバアドレス 

## タイムサーバ設定

タイムサーバアドレス 

## ポート設定

LAN ポート1 LAN ポート2 LAN ポート3 WAN ポート 

確認

送信

表 ネットワーク設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<動作モード設定>			
動作モード	動作モードを選択します。	固定 IP+ルータモード / DHCP+ルータモード / PPPoE+ルータモード	PPPoE+ ルータモード
<IP アドレス設定>			
LAN 側 IP アドレス	LAN 側 IP アドレスを設定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	192.168.1.254
LAN 側サブネットマスク	LAN 側サブネットマスクを設定します。	128.0.0.0 ~ 255.255.255.255	255.255.255.0
WAN 側 IP アドレス	WAN 側 IP アドレスを設定します。 動作モードが「DHCP+ルータモード」 「PPPoE+ルータモード」の場合、この 情報は使用されません。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
WAN 側サブネットマスク	WAN 側サブネットマスクを設定します。 動作モードが「DHCP+ルータモード」 「PPPoE+ルータモード」の場合、この 情報は使用されません。	128.0.0.0 ~ 255.255.255.255	(空白)
DNS サーバ アドレス	DNS サーバ アドレスを設定します。 動作モードが「DHCP+ルータモード」 「PPPoE+ルータモード」の場合、この 情報は使用されません。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。 動作モードが「DHCP+ルータモード」 「PPPoE+ルータモード」の場合、この 情報は使用されません。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
<DHCP サーバ設定>			
DHCP サーバ機能	本ユニットの配下 (LAN 側) に接続される 装置へ IP アドレス自動割り当てする 機能を選択します。	無効 / 有効	有効
割り当て開始 IP アドレス	DHCP サーバ機能を有効にした場合、割り 当てるアドレス範囲の開始 IP アドレス を設定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	192.168.1.1
割り当て終了 IP アドレス	DHCP サーバ機能を有効にした場合、割り 当てるアドレス範囲の終了 IP アドレス を設定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	192.168.1.10
通知用 DNS サーバアドレス	DHCP サーバ機能を有効にした場合、配下 の装置に通知する DNS サーバアドレスを 設定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	192.168.1.254
<タイムサーバ設定>			
タイムサーバアドレス	タイムサーバアドレスを設定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
<ポート設定>			
LAN ポート 1~3	各ポートの装置内部の通信速度、動作モ ードを設定します。 通常は、"自動" (初期値) のままで使用 して下さい。	自動認識 / 100M 全二重 / 100M 半二重 / 10M 全二重 / 10M 半二重	自動認識
WAN ポート			自動認識

## 2.2.1.4 SIP 設定

## SIP 設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## IP 電話設定

市外局番

## SIP 設定

SIPドメイン

SIP REGISTERサーバアドレス

SIP プロキシサーバアドレス

アカウントID

パスワード

確認

## SIPポート番号設定

自装置ポート番号

5060

RTPポート番号(UDP受信開始)

5004

## セッションタイム機能設定

セッションタイム

無効

確認

送信

表 SIP 設定項目詳細 (1/2)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<IP 電話設定>			
市外局番	市外局番を設定します。	半角文字で「0~9」「*」「#」 (6桁以内)	(空白)
<SIP 設定>			
SIP ドメイン	SIP ドメインを設定します。	半角英数字、「-」「.」(ハイフン、ドット)からなる1~63文字以内。 (ただし、先頭と最後、及びドットの前後は半角英数字であること。)	(空白)
SIP REGISTER サーバアドレス	SIP 用 REGISTER サーバアドレスを設定 します。	(1)IP アドレスで入力 0.0.0.1 ~ 255.255.255.255 (2)ドメイン名で入力	(空白)
SIP プロキシ サーバアドレス	SIP 用プロキシサーバアドレスを設定 します。	半角英数字、「-」「.」(ハイフン、ドット)からなる1~63文字以内。 (ただし、先頭と最後、及びドットの前後は半角英数字であること。)	(空白)
アカウント ID	アカウント ID を設定します。	0x22「」、0x2C「」、および0x3B「」; を除く ASCII コード 0x21~0x7E の 範囲で1~32文字以内	(空白)
パスワード	パスワードを設定します。	0x22「」、0x2C「」、および0x3B「」; を除く ASCII コード 0x21~0x7E の 範囲で1~63文字以内	(空白)
パスワード確認	確認のため、再度「パスワード」を設定 します。	0x22「」、0x2C「」、および0x3B「」; を除く ASCII コード 0x21~0x7E の 範囲で1~63文字以内	(空白)

表 SIP 設定項目詳細 (2/2)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<SIP ポート番号設定>			
自装置ポート番号	SIP 通信で使用するメッセージ用のポート番号を設定します。	1 ~ 65531 (自装置 SIP ポート番号は、RTP ポート番号の予約範囲値と重ならないこと。)	5060
RTP ポート番号 (UDP 受信開始)	RTP/RTCP、FAX 通信のために必要なポート番号の予約範囲の先頭を設定します。 RTCP ポート番号は RTP ポート番号+1 になります。	1 ~ 65480 (予約範囲は指定した RTP ポート番号から指定した RTP ポート番号+50 までとする。)	5004
<セッションタイム機能設定>			
セッションタイム	セッションタイム機能の無効/有効を設定します。	無効 / 有効	無効

**補足説明：**パスワードを変更する場合は、パスワード/パスワード確認の"\*"で表示されている内容を全てクリアし、再度入力して下さい。

## 2.2.1.5 IP フィルタ設定

## IPフィルタ設定

ルータ機能あり + 2ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## パケットフィルタ規則

方針	<input type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 破棄
プロトコル種別	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP <input type="radio"/> ICMP
入力インタフェース	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> WAN <input type="radio"/> LAN
出力インタフェース	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> WAN <input type="radio"/> LAN
送信元IPアドレス/マスク長	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/> / <input type="text"/>
送信先IPアドレス/マスク長	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/> / <input type="text"/>
送信先ポート番号	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/> ~ <input type="text"/>
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>	

方針 種別 入力 送信元IP → 出力 送信先IP : 送信先ポート番号

確認

送信

表 IPフィルタ設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<パケットフィルタ規則>			
方針	パケットフィルタリングを行う場合のフィルタルールを設定します。	許可 / 破棄	(選択無し)
プロトコル種別	フィルタリングを行うパケットのプロトコル種別を設定します。 "全て"及び"ICMP"を選択した場合、送信先ポート番号の指定はできません。	全て / TCP / UDP / ICMP	(選択無し)
入力インタフェース	フィルタリングを行うパケットの入力方向を設定します。	全て / WAN / LAN	(選択無し)
出力インタフェース	フィルタリングを行うパケットの出力方向を設定します。		(選択無し)
送信元 IP アドレス / マスク長	フィルタリングを行うパケットの送信元 IP アドレスとマスク長を設定します。 "全て"を選択した場合、送信先 IP アドレスとマスク長の指定はできません。	(1) 全て / 指定 (2) "指定"を選択した場合 ・ IP アドレス : 0.0.0.1 ~ 255.255.255.255 ・ マスク長 : 1 ~ 32	(選択無し) / (空白)
送信先 IP アドレス / マスク長	フィルタリングを行うパケットの送信先 IP アドレスとマスク長を設定します。 "全て"を選択した場合、送信先 IP アドレスとマスク長の指定はできません。		(選択無し) / (空白)
送信先ポート番号	フィルタリングを行うパケットの送信先ポート番号を設定します。任意のポートを指定する場合は、開始ポートのみ指定します。 "全て"を選択した場合、送信先ポート番号の範囲指定はできません。	(1) 全て / 指定 (2) "指定"を選択した場合 ・ 開始ポート : 1 ~ 65535 ・ 終了ポート : 1 ~ 65535	(選択無し) / (空白)

補足説明 1 : 受信パケットのフィルタルールは最大 64 パターン登録することができます。

補足説明 2 : 画面の上に表示されているものほど優先順位が高くなります。



## 2.2.1.6 パケットフィルタ設定

## パケットフィルタ設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## ステルスモード設定

TCPステルスモード	有効 ▼
UDPステルスモード	有効 ▼
ICMPステルスモード	無効 ▼

## セキュリティ設定

Windows共有関係のトラフィック遮断	有効 ▼
----------------------	------

確認

送信

表 パケットフィルタ設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<ステルスモード設定>			
TCP ステルスモード	各プロトコルのWAN側から本ユニットへのアクセスにตอบสนองかどうかを設定します。	無効 / 有効	有効
UDP ステルスモード			有効
ICMP ステルスモード			無効
<セキュリティ設定>			
Windows 共有関係のトラフィック遮断	外部とのWindows共有関係(Net BIOS)のトラフィックを遮断するかどうかを設定します。 有効にすると、LAN WANのポート135,137,138,139,445を送信先とするパケットを拒否します。	無効 / 有効	有効

## 2.2.1.7 DHCP 設定

## DHCP設定

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## DHCPクライアント設定

DHCP ベンダクラスID	<input type="text"/>
DHCP クライアントID	<input type="text"/>
DNSサーバアドレス	<input type="text"/>

確認

送信

表 DHCP 設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<DHCP クライアント設定>			
DHCP ベンダクラス ID	DHCP サーバを指定したい場合に設定します。 通常の DHCP サーバを使用する場合は、<空白>(初期値)のままにしてください。 設定する ID は DHCP サーバで設定されている値と一致させてください。一致しない場合は、IP アドレスを自動取得できません。	0x22「 ”」および 0x3B「 ;」を除く ASCII コード 0x21～0x7E の範囲で 1～16 文字以内	(空白)
DHCP クライアント ID	IP アドレスを自動取得する場合に、クライアント(本ユニット)の識別を行うために設定します。 通常は、自動取得時に同じ IP アドレスを取得する目的で使用します。 (DHCP サーバにクライアント ID と IP アドレスの対応が設定されている場合のみ) 複数台の装置に同じ ID が設定されていると、1つの IP アドレスが複数台に割り当てられるので、必ず固有の(ユニークな)値にしてください。	0x22「 ”」および 0x3B「 ;」を除く ASCII コード 0x21～0x7E の範囲で 2～16 文字以内	(空白)
DNS サーバアドレス	DNS サーバの IP アドレスを設定します。 DHCP サーバより DNS サーバアドレスを取得しても、ここで設定されたアドレスを本ユニットが問い合わせる DNS サーバとします。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)

**補足説明：動作モードが「DHCP」、 「DHCP + ルータモード」以外の場合、この設定は無効となります。**

## 2.2.1.8 PPPoE 設定

PPPoE 設定画面 (1/2)

## PPPoE 設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## 動作設定

PPPoEの起動/停止

 起動する
  停止する
 

## ログイン情報 その1

ログイン情報 その1 での接続

 接続する
  接続しない

ログイン ID

ログイン パスワード

確認

認証方式

 認証なし
  PAP
  CHAP
  PAP+CHAP

DNSサーバアドレス

MTU値

IP アドレス指定

 指定しない
  指定する (unnumbered 接続)

IP アドレス

サブネットマスク

## ログイン情報 その2

ログイン情報 その2 での接続

 接続する
  接続しない

ログイン ID

ログイン パスワード

確認

認証方式

 認証なし
  PAP
  CHAP
  PAP+CHAP

DNSサーバアドレス

MTU値

IP アドレス指定

 指定しない
  指定する (unnumbered 接続)

IP アドレス

サブネットマスク

## ログイン情報 その3

ログイン情報 その3 での接続

 接続する
  接続しない

ログイン ID

ログイン パスワード

確認

認証方式

 認証なし
  PAP
  CHAP
  PAP+CHAP

DNSサーバアドレス

MTU値

IP アドレス指定	<input checked="" type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続) IP アドレス <input type="text"/> サブネットマスク <input type="text"/>
ログイン情報 その4	
ログイン情報 その4 での接続	<input type="radio"/> 接続する <input checked="" type="radio"/> 接続しない
ログイン ID	<input type="text"/>
ログイン パスワード	<input type="text"/> 確認 <input type="text"/>
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input checked="" type="radio"/> PAP+CHAP
DNSサーバアドレス	<input type="text"/>
MTU値	<input type="text" value="1452"/>
IP アドレス指定	<input checked="" type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続) IP アドレス <input type="text"/> サブネットマスク <input type="text"/>
<input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="送信"/>	

表 PPPoE 設定項目詳細(1/2)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<b>&lt;動作設定&gt;</b>			
PPPoE の起動 / 停止	PPPoE の起動、停止を指定します。 実行ボタンを押下することで、PPPoE の起動又は停止を行います。 動作モードが「固定 IP+ルータモード」「DHCP+ルータモード」の場合、実行できません。 停止処理中、シャットダウン状態等の場合、ダイアログが表示されます。	起動する / 停止する	(PPPoE 状態により設定) 正常: 停止する / 異常: 起動する
<b>&lt;ログイン情報 その1~4&gt;</b>			
ログイン情報 その1~4 での接続	ログイン (PPPoE 接続) を行う際に利用したい接続情報を「接続する」に設定します。 「標準設定」画面で設定した内容が「ログイン情報 その1」の内容になります。	接続する / 接続しない	接続しない
ログイン ID	PPPoE の認証のログイン ID を設定します。	0x22 「 ”」および 0x3B 「 ; 」を除く ASCII コード 0x21 ~ 0x7E の範囲で 1 ~ 63 文字以内	(空白)
ログインパスワード	PPPoE の認証のログインパスワードを設定します。		
ログインパスワード 確認	確認のため、もう一度「ログインパスワード」を設定します。		
認証方式	PPPoE の認証方式を認証なし、PAP のみ、CHAP のみ、そして PAP+CHAP(自動切り替え)の中から設定します。PAP+CHAP を選択した場合、接続先と一致した方式を使用します。	認証なし / PAP / CHAP / PAP+CHAP	PAP+CHAP
DNS サーバアドレス	DNS サーバの IP アドレスを設定します。 PPPoE サーバより DNS サーバアドレスを取得しても、ここで設定されたアドレスを本ユニットが問い合わせる DNS サーバとします。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
MTU 値	MTU 値を設定します。	576 ~ 1492 (8 で割ると 4 余る整数を推奨)	1452

表 PPPoE 設定項目詳細(2/2)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス指定 (unnumbered 接続)	unnumbered 接続を行なう場合、 IP アドレス/サブネットマスクを設定しま す。 ここで指定した IP アドレスが本ユニットの IP アドレスとして設定されます。	(1)指定しない / 指定する (2)"指定する"を選択した場合 ・ IP アドレス： 0.0.0.1 ~ 255.255.255.255 ・ サブネットマスク 128.0.0.0 ~ 255.255.255.255	指定しない

**補足説明 1：**「ログイン情報 その 1~その 4」の設定変更後に停止、起動を行っても設定内容は反映されません。  
変更した内容を反映させたい場合は、設定内容を送信後、再起動を行って下さい。

**補足説明 2：**パスワードを変更する場合は、パスワード/パスワード確認の""で表示されている内容を全てクリアし、再度入力して下さい。

**補足説明 3：**動作モードが「PPPoE + ルータモード」以外の場合、この設定は無効となります。

- 動作モードが「固定 IP+ルータモード」「DHCP+ルータモード」の場合、シャットダウン状態の場合は、動作設定が以下のようになり、選択及び実行することができません。

#### 動作設定

PPPoEの起動 / 停止

起動する  停止する

## 2.2.1.9 NAPT 設定

## NAPT 設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## NAPT設定

動的NAPT機能	有効
バーチャルホスティング IP	
UPnP IGD機能	無効

## 静的NAPT設定(ポート転送規則)

WAN側 受信ポート	
プロトコル種別	<input checked="" type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP
LAN側 転送IPアドレス	
LAN側 転送ポート	
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>	

WAN側ポート / プロトコル -&gt; LAN側転送IPアドレス : ポート

確認

送信

表 NAPT 設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<NAPT 設定>			
動的 NAPT 機能	本ユニットの動的 NAPT 機能の無効/有効を設定します。	無効 / 有効	有効
バーチャルホスティング IP	グローバル側からのアクセスを特定の端末へすべて転送する場合に IP アドレスを指定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
UPnP IGD 機能	本ユニットの UPnP IGD 機能の無効/有効を設定します。	無効 / 有効	無効
<静的 NAPT 設定(ポート転送規則)>			
WAN 側 受信ポート	WAN 側 ポートを設定します。	1 ~ 65535	(空白)
プロトコル種別	使用するプロトコルを設定します。	TCP / UDP	(選択無し)
LAN 側 転送 IP アドレス	転送 IP アドレスを設定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
LAN 側 転送ポート	転送ポートを設定します。	1 ~ 65535	(空白)

補足説明 1 : ポート転送規則は最大 32 パターン登録することができます。

補足説明 2 : 一覧の上に表示されるもの程、優先度が高くなります。

## 2.2.1.10 ルーティングテーブル設定

## ルーティングテーブル設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## スタティックルーティング設定

宛先ネットワークアドレス/マスク長

 / 

宛先ルータIPアドレス

追加

変更

削除

宛先ネットワーク / マスク長 / 宛先ルータ

確認

送信

表 ルーティングテーブル設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<スタティックルーティング設定>			
宛先ネットワークアドレス/マスク長	宛先ネットワークのネットワークアドレス/マスク長を設定します。	(1)宛先ネットワークアドレス : 0.0.0.1 ~ 255.255.255.255 (2)マスク長 : 1 ~ 32	(空白)
宛先ルータ IP アドレス	指定したい経路の宛先ルータ IP アドレスを設定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)

補足説明 1 : ルーティングテーブルは最大 16 パターン登録することができます。

補足説明 2 : 一覧の上に表示されるもの程、優先度が高くなります。

## 2.2.1.11 RIP 設定

## RIP 設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## RIP 設定

RIP 機能

無効 ▾

各インタフェースのRIP 設定

LANインタフェース

無効 ▾

WANインタフェース

無効 ▾

確認

送信

表 RIP 設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<RIP 設定>			
RIP 機能	RIP 機能の無効/有効の設定を行います。	無効 / 有効	無効
<各インタフェースのRIP 設定>			
LAN インタフェース	RIP 機能で"有効"の設定を行った場合、LAN 側インタフェースのRIPの無効/有効の設定を行います。	無効 / 有効	無効
WAN インタフェース	RIP 機能で"有効"の設定を行った場合、WAN 側インタフェースのRIPの無効/有効の設定を行います。	無効 / 有効	無効



## 2.2.1.12 音声設定

## 音声設定

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## 音声パケットサイズ

G.711 $\mu$ -law	<input type="text" value="20"/>	ミリ秒
G.711 A-law	<input type="text" value="20"/>	ミリ秒

## オーディオ能力

G.711 $\mu$ -law	優先順位	<input type="text" value="1"/>
G.711 A-law	優先順位	<input type="text" value="2"/>

## 音声バッファサイズ

最大受信バッファサイズ	<input type="text" value="500"/>	ミリ秒
遅延回復開始バッファサイズ	<input type="text" value="200"/>	ミリ秒
遅延回復停止バッファサイズ	<input type="text" value="30"/>	ミリ秒

## 音量設定 (VoIP)

送話音量	<input type="text" value="0"/>	dB
受話音量	<input type="text" value="0"/>	dB

## エコーキャンセラ

エコーキャンセラ使用	<input type="text" value="有効"/>
------------	---------------------------------

## トーン番号設定

呼出音 (RBT)	<input type="text" value="2"/>
話中音 (BT)	<input type="text" value="3"/>

確認

送信

表 音声設定項目詳細 (1/2)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<b>&lt;音声パケットサイズ&gt;</b>			
G.711 $\mu$ -law	送信する音声パケットサイズを設定します。 この音声符号化則を使用する場合は、次の「オーディオ能力」を設定する必要が有ります。 ステップ 10 ミリ秒です。	20 ~ 60 ミリ秒	20
G.711 A-law		20 ~ 60 ミリ秒	20
<b>&lt;オーディオ能力&gt;</b>			
G.711 $\mu$ -law	音声能力種別の優先順位を設定します。 「無効」を設定すると、この音声符号化則を使用しません。 優先度は「1」が最優先となります。	無効 / 1 / 2	1
G.711 A-law			2

表 音声設定項目詳細(2/2)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<b>&lt;音声バッファサイズ&gt;</b>			
最大受信バッファサイズ	音声パケットの受信バッファサイズの最大値を設定します。バッファサイズを変更した場合は、以下の遅延回復開始バッファサイズ、遅延回復停止バッファサイズを見直す必要が有ります。ステップ 10 ミリ秒です。	10 ~ 500 ミリ秒	500
遅延回復開始バッファサイズ	遅延回復処理の開始バッファサイズを設定します。設定できる最大値は前の「最大受信バッファサイズ」÷2 となります。ステップ 10 ミリ秒です。	0 ~ 250 ミリ秒	200
遅延回復停止バッファサイズ	遅延回復処理を停止するバッファサイズを設定します。設定できる最大値は、「遅延回復開始バッファサイズ」となります。ステップ 10 ミリ秒です。	0 ~ 250 ミリ秒	30
<b>&lt;音量設定(VoIP)&gt;</b>			
送話音量	VoIP 回線へ送信する音声の音量を設定します。設定値は-40dB ~ +14dB : ステップ 2dB です。	- 40 ~ +14dB	0
受話音量	VoIP 回線から受信する音声の音量を設定します。設定値は-40dB ~ +14dB : ステップ 2dB です。	- 40 ~ +14dB	0
<b>&lt;エコーキャンセラ&gt;</b>			
エコーキャンセラ使用	VoIP 通話でユニット内部のエコーキャンセラを使用するかどうかを設定します。	無効 / 有効	有効
<b>&lt;トーン番号設定&gt;</b>			
呼出音(RBT)	各トーン(可聴音)を設定します。可聴音とトーン指定番号の対応は、下記の「補足資料：トーン定義」を参照。	0 ~ 39	2 (RBT)
話中音(BT)		0 ~ 39	3 (BT)

## 補足資料：トーン定義

- ・トーン番号設定は、可聴音(RBT / BT)毎にトーンデータを指定します。
- ・デフォルトのトーンデータ指定は、0 ~ 11の12パターンのTONE指定番号より選択できます。下記の一覧を参照。
- ・トーン指定番号の13 ~ 39を指定する場合には、トーン指定ファイル(TONE.DEF)にTONE指定番号に該当するトーン定義を行う必要が有ります。

## &lt;デフォルトトーン：TONE指定番号&gt;

TONE 指定番号	周波数 (Hz)	送出レベル (dBm)	インターバル (ms)	可聴音 (参考)
0	-	-	-	無音
1	400	-22	連続	DT
2	400(16HzAM 変調)	-5	1000(on)/2000(off)	RBT
3	400	0	500(on)/500(off)	BT
4	1950	-36	2000(off)/120(on)/120(off)/ 120(on)/240(off)/120(on)/ 120(off)/120(on)	CON
5	400	-27	200(on)/200(off)/200(on)/400(off)	ROT
6	1999	-9	50(on)/50(off)	HWT
7	400	-27	150(on)/150(off)/150(on)/150(off) 150(on)/150(off)/150(on)/20150(off)	ITC
8	400	-15	5000(on)	CPT
9	400	-20	50(on)/450(off)/50(on)/3450(off)	IIT
10	400	-22	130(on)/120(off)	SDT
11	400	-22	1000(on)	PTC

## 2.2.1.13 優先制御設定

## 優先制御設定

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## TOS値設定

音声	0x	<input type="text" value="E0"/>
呼制御	0x	<input type="text" value="E0"/>
音声優先制御設定		
輻輳制御	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
WANリンク帯域制御	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
WANリンク帯域	<input type="text"/>	Kbps
<input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="送信"/>		

表 優先制御設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<TOS 値設定>			
音声	IP パケットのヘッダにある TOS フィールドの値を設定します。 この設定により、音声パケットの優先度を設定できます。	0x00 ~ 0xFF (該当 Bit 位置を Hex で設定します。 「0~9、A~F」) 「補足資料：TOS フィールド」参照	E0
呼制御	IP パケットのヘッダにある TOS フィールドの値を設定します。 この設定により、呼制御パケットの優先度を設定できます。		E0
<音声優先制御設定>			
輻輳制御	"有効"に設定することで VoIP 通話中はデータパケット通信の帯域制限を行います。 (無効に設定すると、通話中でもデータパケット通信の帯域制限を行いません。)	無効 / 有効	有効
WAN リンク帯域制御	"有効"に設定した場合は下記の「WAN リンク帯域」を設定します。また「WAN リンク帯域」にデフォルト値の 512(Kbps) が設定されます。	無効 / 有効	無効
WAN リンク帯域(Kbps)	「WAN リンク帯域制御」を有効に設定した場合、WAN リンク帯域を設定します。 「WAN リンク帯域制御」で「無効」を選択している場合は「WAN リンク帯域」の設定はできません。	64 ~ 102400(Kbps)	(空白)

## 補足資料：TOS フィールド

## [ 機能仕様 ]

- ・ TOS値の入力は16進数によって設定する。
- ・ TOSフィールドは8ビットあり、最下位ビットは無効です。

## &lt;TOSフィールド&gt;

0	1	2	3	4	5	6	7 (bit)
	P		D	S	R	C	0

P：優先権 / D：遅延優先 / S：スループット優先 / R：信頼性優先 / C：コスト優先

## 2.2.1.14 状態表示

## 状態表示

ルータ機能あり + 2 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## バージョン

プログラムバージョン	04.00.0000
------------	------------

## 動作状態

ルータスイッチ	ON
DSP 状態	正常
VoIP(1)回線状態	通話中
VoIP(2)回線状態	通話可能
VoIP(3)回線状態	通話不可
VoIP(4)回線状態	通話不可
VoIP(5)回線状態	通話不可
VoIP(6)回線状態	通話不可
VoIP(7)回線状態	通話不可
VoIP(8)回線状態	通話不可
DHCP 状態	未使用
PPPoE 状態	正常

## ポート状態

P1 状態	接続
P2 状態	接続
P3 状態	未接続
WAN 状態	接続

## MACアドレス

LAN側 MACアドレス	00:02:2B:AX:XX:XX
WAN側 MACアドレス	00:02:2B:AY:YY:YY

## ネットワーク

LAN側 IPアドレス	192.168.1.254
LAN側 サブネットマスク	255.255.255.0
WAN側 IPアドレス	172.21.10.152
WAN側 サブネットマスク	255.255.255.255
DNSサーバアドレス	10.190.123.3
デフォルトゲートウェイ	172.21.10.1
REGISTERサーバ アドレス	10.190.123.2
DHCPサーバ アドレス	0.0.0.0
タイムサーバ アドレス	0.0.0.0

表 状態表示項目詳細

表示項目	説明
<バージョン>	
プログラムバージョン	本ユニットのプログラムバージョンを表示します。
<動作状態>	
ルータスイッチ	本ユニット起動時のルータスイッチの状態により、ルータ機能の ON(有効)/OFF(無効)を表します。 「ON」 : 本ユニットはルータ機能が有効です。 「OFF」 : 本ユニットはルータ機能が無効です。 運用中にルータスイッチを切り替えてもルータスイッチの状態及びルータ機能の有無は変更されません。
DSP 状態	信号変換制御部の状態を表示します。 「正常」 : 通常は「正常」と表示します。 「異常」 : 本ユニットの電源を入れ直して下さい。 「起動中」 : 信号変換制御部は起動中です。
VoIP 回線状態 (1~8)	IP 電話の利用状況を表示します。 「通話可能」 : 未使用(通話待ち)です。 「通話中」 : 通話中です。 「通話不可」 : 使用不可能です。
DHCP 状態	DHCP の状態を表示します。 「正常」 : DHCP クライアント機能は正常です。 「異常」 : DHCP クライアント機能は起動中又は、異常です。 「未使用」 : DHCP クライアント機能は未使用です。
PPPoE 状態	PPPoE の状態を表示します。 「正常」 : PPPoE クライアント機能は正常です。 「異常」 : PPPoE クライアント機能は起動中、認証中、切断中又は、異常です。 「未使用」 : PPPoE クライアント機能は未使用です。
<ポート状態>	
P1~P3 状態	P1~P3 の LAN ポート状態を表示します。 「接続」 : LAN ポートにケーブルが正しく接続されている状態です。 「未接続」 : LAN ポートにケーブルが正しく接続されていない状態です。
WAN 状態	WAN ポート状態を表示します。 「接続」 : WAN ポートにケーブルが正しく接続されている状態です。 「未接続」 : WAN ポートにケーブルが正しく接続されていない状態です。
<MAC アドレス>	
LAN 側 MAC アドレス	本ユニットの LAN 側 MAC アドレスを表示します。
WAN 側 MAC アドレス	本ユニットの WAN 側 MAC アドレスを表示します。
<ネットワーク>	
LAN 側 IP アドレス	使用中の LAN 側 IP アドレスです。
LAN 側 サブネットマスク	使用中の LAN 側サブネットマスクです。
WAN 側 IP アドレス	使用中の WAN 側 IP アドレスです。
WAN 側 サブネットマスク	使用中の WAN 側サブネットマスクです。
DNS サーバアドレス	使用中の DNS サーバアドレスです。
デフォルトゲートウェイ	使用中のデフォルトゲートウェイです。
REGISTER サーバアドレス	使用中の REGISTER サーバ アドレスです。
DHCP サーバ アドレス	使用中の DHCP サーバ アドレスです。 (動作モードが"DHCP+ルータモード"以外の場合は、"0.0.0.0"を表示します。)
タイムサーバ アドレス	使用中のタイムサーバ アドレスです。

## 2.2.1.15 障害ログ表示

## ログ表示

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## 障害ログ

Error Log : There are 015 entries.

```

1. Thu Jan 15 18:15:35 2004 01(Report) 00(SYSTEM) 03(COMREBOOT) SEQ=00
   57656252 65626F8F 74202020 20202020 WebReboot
2. Thu Jan 15 18:12:42 2004 01(Report) 00(SYSTEM) 03(COMREBOOT) SEQ=00
   57656252 65626F8F 74202020 20202020 WebReboot
3. Thu Jan 15 18:07:55 2004 01(Report) 00(SYSTEM) 03(COMREBOOT) SEQ=00
   57656252 65626F8F 74202020 20202020 WebReboot
4. Thu Jan 15 18:03:04 2004 00(Fault) 07(TCPIP) 01(PPPOERSTNG) SEQ=00
   00000000 00000000 00000000 00000000 .....
5. Thu Jan 15 17:58:21 2004 01(Report) 00(SYSTEM) 03(COMREBOOT) SEQ=00
   4669726D 55702020 20202020 20202020 FirmUp
6. Thu Jan 15 17:55:00 2004 00(Fault) 07(TCPIP) 01(PPPOERSTNG) SEQ=00
   00000000 00000000 00000000 00000000 .....
7. Thu Jan 15 17:53:49 2004 00(Fault) 07(TCPIP) 02(PPPOEDOWN) SEQ=00
   00000000 00000000 00000000 00000000 .....
8. Thu Jan 15 17:53:37 2004 01(Report) 00(SYSTEM) 03(COMREBOOT) SEQ=00
   436F6D52 65626F8F 74202020 20202020 ComReboot

```

表 障害ログ表示項目詳細

表示項目	説明
<障害ログ>	
ログ件数	000 ~ 100
表示番号	1 ~ 100
記録時刻	記録時刻：(曜日 月 日 時:分:秒 年)
分類コード	00(Fault)：障害、01(Report)：通知、10(Recover)：復旧 障害コードの内容は、下記の「補足資料：障害コード一覧」を参照
装置番号(略名)	00(SYSTEM)、01(MAINT)、02(LINE)、03(DSP)、04(RTP)、等 障害コードの内容は、下記の「補足資料：障害コード一覧」を参照
詳細番号(略名)	装置コード毎の種別：00(PPPOEAUTH)、01(PPPOERSTNG)、等 障害コードの内容は、下記の「補足資料：障害コード一覧」を参照
SEQ 番号	障害の発生した回線番号等 例：SEQ=01 (装置単位の場合は SEQ=00)
詳細コード	バイナリコード:16byte
詳細コード	ASCII コード:16byte

補足説明：障害ログは新しい順に最大 100 件表示します。

## 補足資料：障害コード一覧

障害コードの意味						
分類コード	装置番号(略名)	詳細番号(略名)	SEQ 番号	内容		
通知	00	(SYSTEM)	01	(DEFRST)	00	初期値ボタン押下による初期値再開
通知	00	(SYSTEM)	03	(COMREBOOT)	00	reboot コマンドによる再開
障害	00	(SYSTEM)	08	(LANCTESTNG)	01	LANC ループバック試験異常
障害	00	(SYSTEM)	10	(NONGKDATA)	00	VoIP 関連データ未設定
障害	00	(SYSTEM)	13	(DNSREQTO)	00	DNS 問い合わせタイムアウト
障害	00	(SYSTEM)	14	(VOIPDOWN)	00	VoIP プロセス異常
通知	00	(SYSTEM)	16	(ROUTERSWOF)	00	ユニット起動時ルータ機能 OFF
通知	00	(SYSTEM)	17	(ROUTERSWON)	00	ユニット起動時ルータ機能 ON
障害	01	(MAINTE)	01	(BADOFD)	00	局データ異常
障害	01	(MAINTE)	03	(BADSYD)	00	システムデータ異常
障害	01	(MAINTE)	05	(AUTOUPDATE)	00	自動ファームアップ失敗
通知	00	(SYSTEM)	0D	(NONTONE)	00	トーンデータ無し
通知	00	(SYSTEM)	0E	(BADTONE)	00	トーンデータ異常
障害	03	(DSP)	01	(DSPNONPG)	00	DSP プログラムファイル無し
障害	03	(DSP)	02	(DSPDLERR)	00	DSP ダウンロードエラー
障害	03	(DSP)	03	(DSPASNERR)	00~07	DSP 非同期エラー
障害	04	(RTP)	00	(NONRTP)	00~17	音声パケット未受信
通知/復旧	07	(TCP/IP)	00	(PPPOEAUTH)	00	再開時 PPPoE 認証 NG
障害/復旧	07	(TCP/IP)	01	(PPPOERSTNG)	00	再開時 PPPoE セッション確立 NG
障害/復旧	07	(TCP/IP)	02	(PPPOEDOWN)	00	運用中 PPPoE セッション切断
通知	07	(TCP/IP)	04	(PPPOEOPEN)	00	再開時 PPPoE セッション確立
通知	07	(TCP/IP)	05	(NODNSADR)	00	DNS アドレス未取得
障害/復旧	07	(TCP/IP)	10	(DHCPDRSTNG_L)	00	LAN 側再開時 DHCP アドレス取得 NG
障害/復旧	07	(TCP/IP)	11	(DHCPDOWN_L)	00	LAN 側 DHCP リース期間オーバー
通知	07	(TCP/IP)	12	(DHCPADRCH_L)	00	LAN 側運用中 DHCP 取得アドレス変更
通知	07	(TCP/IP)	13	(DHCPADRGT_L)	00	LAN 側再開時 DHCP アドレス取得
障害/復旧	07	(TCP/IP)	14	(DHCPDRSTNG_W)	00	WAN 側再開時 DHCP アドレス取得 NG
障害/復旧	07	(TCP/IP)	15	(DHCPDOWN_W)	00	WAN 側 DHCP リース期間オーバー
通知	07	(TCP/IP)	16	(DHCPADRCH_W)	00	WAN 側運用中 DHCP 取得アドレス変更
通知	07	(TCP/IP)	17	(DHCPADRGT_W)	00	WAN 側再開時 DHCP アドレス取得
通知	07	(TCP/IP)	30	(SNTP_START)	00	SNTP 取得開始
通知	07	(TCP/IP)	31	(SNTP_OK)	00	SNTP 取得完了
通知	07	(TCP/IP)	32	(SNTP_NG)	00	SNTP 取得失敗
障害/復旧	09	(SIP)	00	(REGSRVNG)	00~07	Register サーバ障害
障害	09	(SIP)	01	(SIPAUTH)	00~07	SIP 認証 NG
通知	0A	(CCH)	00	(TFTPSEDERR)	01~7F	TFTP 転送エラー(送信)
通知	0A	(CCH)	01	(TFTPREVERR)	01~7F	TFTP 転送エラー(受信)

分類コード	
00(Fault)	障害
01(Report)	通知
10(Recover)	復旧

## 2.2.1.16 通話ログ表示

## ログ表示

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## 通話ログ

Call Log : There are 100 entries.

```

1. Thu Jan 15 11:24:49 2004 Thu Jan 15 11:25:53 2004 00 00:01:04
05020141111 SIP 001 ORG 016 Audio
05020151111 192.168.111.208 G711ulaw
0/ 0/ 0 2949/ 0 17
21 0 22 1 23 0 24 0 25 5 26 0
2. Thu Jan 15 11:25:11 2004 Thu Jan 15 11:25:30 2004 00 00:00:19
05020141111 SIP 000 ORG 016 Audio
05020151111 192.168.111.208 G711ulaw
0/ 0/ 0 693/ 0 17
0 0 0 0 0 0
3. Wed Jan 14 18:54:49 2004 Wed Jan 14 18:56:13 2004 00 00:01:24
05020141111 SIP 001 TRM 016 Audio
09220137777 192.168.222.237 G711ulaw
0/ 0/ 0 0/ 0 0
0 0 0 0 0 0
4. Wed Jan 14 18:55:45 2004 Wed Jan 14 18:55:47 2004 00 00:00:02
05020141111 SIP 000 ORG 017 Audio
09220137777 0.0.0.0 G711ulaw
0/ 0/ 0 0/ 0 0
0 0 0 0 0 0

```

表 通話ログ表示項目詳細(1/2)

表示項目	説明
<通話ログ>	
ログ件数	000 ~ 100
表示番号	1 ~ 100
発信日時	発信日時：(曜日 月 日 時:分:秒 年) 空き回線が無い状態で着信を受けた場合、発信日時が"*****"となります。
切断日時	切断日時：(曜日 月 日 時:分:秒 年)
通話時間	通話時間：(日 時:分:秒) 発信または着信してから自分または相手が切断するまでの時間です。
発信者番号(装置内電話番号)	自分の電話番号 (最大 32 桁) 電話機の設定で外線補足時/発信者番号が未登録の場合、発信者番号が"*****"となります。
プロトコル種別	SIP
ユニット内ポート番号	本ユニットが使用した内部管理ポート番号
発着信識別	ORG：発信時(電話をかけた) TRM：着信時(電話がかかってきた)
切断理由コード	切断理由コードの内容は、下記の「補足資料：切断理由コード一覧」を参照
メディア情報	Audio
相手先電話番号	相手先の電話番号 (最大 32 桁) 非通知で着信した場合は、相手先番号が"-"となります。
相手先 IP アドレス	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 発信時に発信途中で放棄した場合、または相手が話中だった場合、着信時に非通知で着信した場合は IP アドレスが 0.0.0.0 となります。



表 通話ログ表示項目詳細(2/2)

表示項目	説明
音声符号化方式	G711u1aw=G711μ-law G711A1aw=G711A-law
遅延時間(最大)	本ユニットと相手ユニット間の音声パケットの転送遅延時間 0 ~ 4294967295(ms)
遅延時間(最小)	
遅延時間(平均)	
受信パケット数	本ユニットが受信した音声パケット数 0 ~ 4294967295
廃棄パケット数	相手ユニットが廃棄した音声パケット数 0 ~ 4294967295
パケット到着ジッタ	本ユニットが受信した音声パケットの到達間隔の平均 0 ~ 4294967295(ms)
21 RTP 受信エラーパケット数	本ユニットが受信したが正常に音声化できなかった RTP パケット数 0 ~ 65535
22 RTP パケット(シーケンス番号)紛失数	シーケンス番号(連続番号)が抜け落ちている RTP パケット数 0 ~ 65535
23 RTP パケット(シーケンス番号)入れ替わり数	シーケンス番号(連続番号)が入れ替わっている(正しい順序で到着していない)RTP パケット数 0 ~ 65535
24 ゆらぎ吸収による削除フレーム累計数	ゆらぎ吸収機能による無音パケット削除数 0 ~ 65535
25 ゆらぎ吸収による無音挿入フレーム累計数	ゆらぎ吸収機能による無音パケット挿入数 0 ~ 65535
26 ゆらぎ吸収バッファオーバーフロー累計数	ゆらぎ吸収機能による音声パケット廃棄数 0 ~ 65535

**補足説明：通話ログは通話終了時刻順に最大 100 件表示します。**

補足資料：切断理由コード一覧

切断理由コード	内容
002	指定中継網へのルートなし
016	正常切断
018	着ユーザレスポンスなし
019	着ユーザ呼出中/応答なし
028	無効番号フォーマット
034	利用可回線/チャネルなし

## 2.2.1.17 トラフィックログ表示

## ログ表示

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## トラフィックログ

```

THU Traffic Log : There are 005 entries.
1. Thu Jan 15 19:31:13 2004
  0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000
2. Thu Jan 15 19:18:13 2004
  0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000
3. Thu Jan 15 19:01:13 2004
  0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000
4. Thu Jan 15 18:46:13 2004
  0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000
5. Thu Jan 15 18:31:13 2004
  0000 0001 0000 0000 0000 0000 0000 0000
WED Traffic Log : There are 043 entries.
1. Wed Jan 14 22:44:27 2004
  0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000
2. Wed Jan 14 22:29:27 2004
  0005 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000
3. Wed Jan 14 22:14:27 2004
  0001 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000
4. Wed Jan 14 20:58:46 2004
  0000 0001 0000 0000 0000 0000 0000 0000
5. Wed Jan 14 20:43:46 2004
  0001 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000

```

表 トラフィックログ表示項目詳細

表示項目	説明
<トラフィックログ>	
曜日毎のログデータ	日:SUN、月:MON、火:TUE、水:WED、木:THU、金:FRI、土:SAT
ログ件数	000 ~ 096
表示番号	1 ~ 96
記録時刻	記録時刻：(曜日月日時:分:秒年)
発側完了数(音声)	1
発側不完了数(音声)	1
着側完了数(音声)	1
着側不完了数(音声)	1
発側完了数(FAX)	1 (0000 固定)
発側不完了数(FAX)	1 (0000 固定)
着側完了数(FAX)	1 (0000 固定)
着側不完了数(FAX)	1 (0000 固定)

補足説明 1：15分毎のトラフィック情報を集計し、16進数で表示します。

最大値 0xFFFF まで表示し、回数が越えた場合は、一律「FFFF」を表示します。

補足説明 2：トラフィックログは新しい順に一週間分表示します。(一日最大 96 件)

## 2.2.1.18 Ping 送信

## Ping 送信

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

Ping 送信を実行します

送信先 IP アドレス

実行

結果

表 Ping 送信項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
送信先 IP アドレス	Ping の送信先 IP アドレスを入力します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	初期値 (空白)

1. **実行** ボタンをクリックし、Ping 送信結果が正常の場合は、以下の画面になります。  
(送信先 IP アドレスに 192.168.1.253 を指定し、正常に通信ができた場合の例)

## Ping 送信

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

Ping 送信を実行します

送信先 IP アドレス

実行

結果

```

PING 192.168.1.253 (192.168.1.253): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.1.253: icmp_seq=0 ttl=64 time=0.0 ms
64 bytes from 192.168.1.253: icmp_seq=1 ttl=64 time=0.0 ms
64 bytes from 192.168.1.253: icmp_seq=2 ttl=64 time=0.0 ms

--- 192.168.1.253 ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.0/0.0/0.0 ms

```

2. **実行** ボタンをクリックし、Ping 送信結果が異常の場合は、以下の画面になります。  
(送信先 IP アドレスに 1.1.1.1 を指定し、正常に通信ができなかった場合の例)

## Ping 送信

(FUSION IP-Phone版)

[ヘルプ?](#)

Ping 送信を実行します

送信先 IP アドレス

実行

### 結果

```
PING 1.1.1.1 (1.1.1.1): 56 data bytes
```

```
--- 1.1.1.1 ping statistics ---
```

```
3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

## 2.2.1.19 プログラム更新

プログラム更新ステップ1 (プログラムダウンロード)

## プログラム更新

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

ステップ1：サーバアドレスとファイル名を入力し「ダウンロード」ボタンをクリックして下さい。

サーバアドレス

ファイル名

ダウンロード

1. ダウンロードファイルのある HTTP サーバアドレス、ファイル名を入力し「ダウンロード」ボタンをクリックします。
2. 実行中は以下の画面を表示します。しばらくお待ち下さい。

## 処理中...

自動的に「プログラム更新 ステップ 2」へ進みます。

◆ご注意◆  
処理中は絶対に電源を切らないで下さい。

**(注意!!)：この間、本装置の電源を切らないで下さい。**

3. 実行終了で「プログラム更新ステップ 2」画面を表示します。

HTTP サーバからプログラムを正常に取得できない場合は、以下の画面を表示します。  
戻るボタンをクリック (プログラム更新：ステップ 1 画面へ戻ります) し、入力情報を確認後再度行って下さい。

## エラーが発生しました。

(プログラム情報取得エラー)

プログラム更新画面に戻り、再度プログラム更新を行って下さい。

戻る

プログラム更新ステップ 2(プログラム更新)

## プログラム更新

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

ステップ 2 : プログラム更新を実行し、再起動を行います。

実行中は絶対に電源を切らないで下さい。

実行

4. 「プログラム更新ステップ 2」画面にて**実行**ボタンをクリックします。

通話中の場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリックし、通話終了後に再度ステップ 1 から行って下さい。

### 通話中

通話中のため、プログラム書き込みが行えません。

◆ご注意◆

通話終了確認後、再度プログラム更新を行って下さい。

戻る

HTTP サーバから不正なプログラムを取得した場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリックし、入力情報を確認後再度ステップ 1 から行って下さい。

### エラーが発生しました。

(プログラムダウンロードエラー)

プログラム更新画面に戻り、再度プログラム更新を行って下さい。

再度プログラムをダウンロードする必要があります。

戻る

本ユニットのリソースが不足している場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック（トップ画面へ戻ります）し、再度プログラム更新を行って下さい。

エラーが発生しました。

（リソースチェックエラー）

本ユニットのリソースが不足しています。再起動後、再度プログラム更新を行って下さい。

戻る

本ユニットで利用することができないプログラムバージョンの場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリックし、再度プログラム更新を行って下さい。

エラーが発生しました。

（ハードウェアバージョンチェックエラー）

本ユニットには選択したバージョンでプログラム更新を行うことができません。

プログラム更新画面に戻り、再度プログラム更新を行って下さい。

再度プログラムをダウンロードする必要があります。

戻る

ファームアップ処理中にプログラム更新を実施しようとした場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック後、プログラム更新：ステップ1画面へ戻ります。

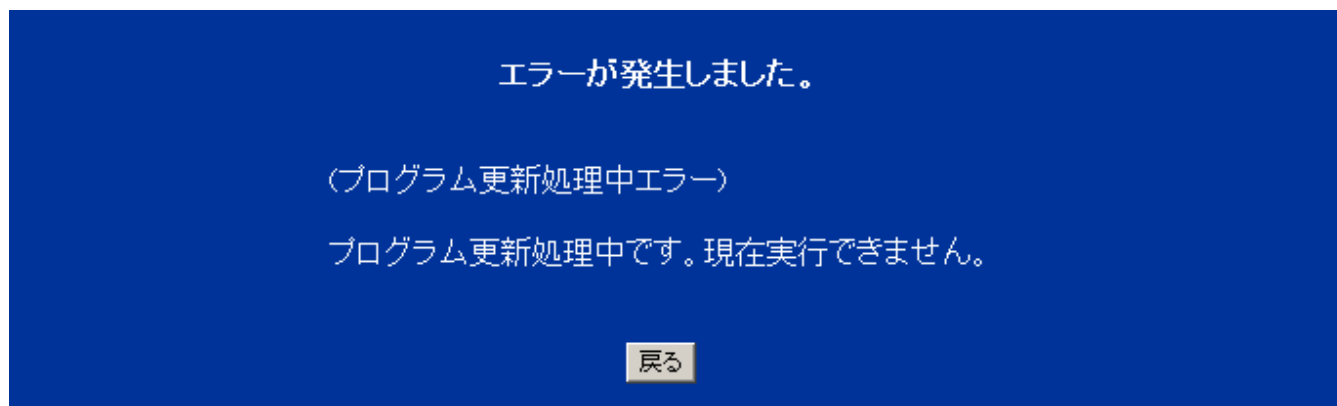
エラーが発生しました。

（ファームアップ処理中エラー）

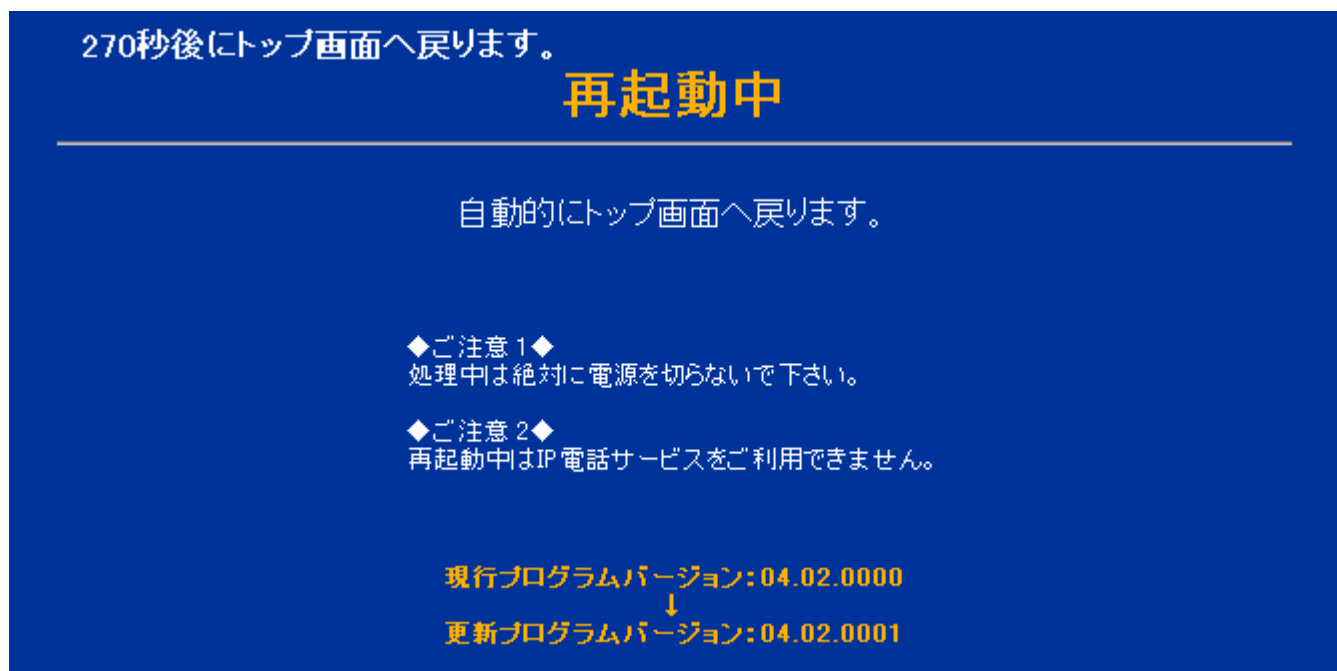
ファームアップ処理中です。現在実行できません。

戻る

プログラム更新処理中にプログラム更新を実施しようとした場合は、以下の画面を表示します。  
戻るボタンをクリック後、プログラム更新：ステップ1画面へ戻ります。



5. 実行中は以下の画面を表示します。しばらくお待ち下さい。  
(トップ画面に戻るまでの秒数はプログラム更新の内容により異なります)。



(注意!!) : この間、本装置の電源を切らないで下さい。

6. 再起動を終了するとトップ画面に戻ります。



## 2.2.1.20 ローカルプログラム更新

プログラムをホームページからパソコンの任意のフォルダーへダウンロード後に作業して下さい。

ローカルプログラム更新ステップ1 (プログラム送信)

### ローカルプログラム更新

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

ステップ1: プログラム更新ファイルを入力して、「送信」ボタンをクリックして下さい。

プログラム更新ファイル

参照...

送信中は絶対に電源を切らないで下さい。

送信

1. **参照**ボタンをクリックして更新対象プログラムを選択して下さい。
2. **送信**ボタンをクリックして下さい。
3. 送信終了で「ローカルプログラム更新: ステップ2」画面を表示します。

ローカルプログラム更新ステップ2 (プログラム更新)

### ローカルプログラム更新

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

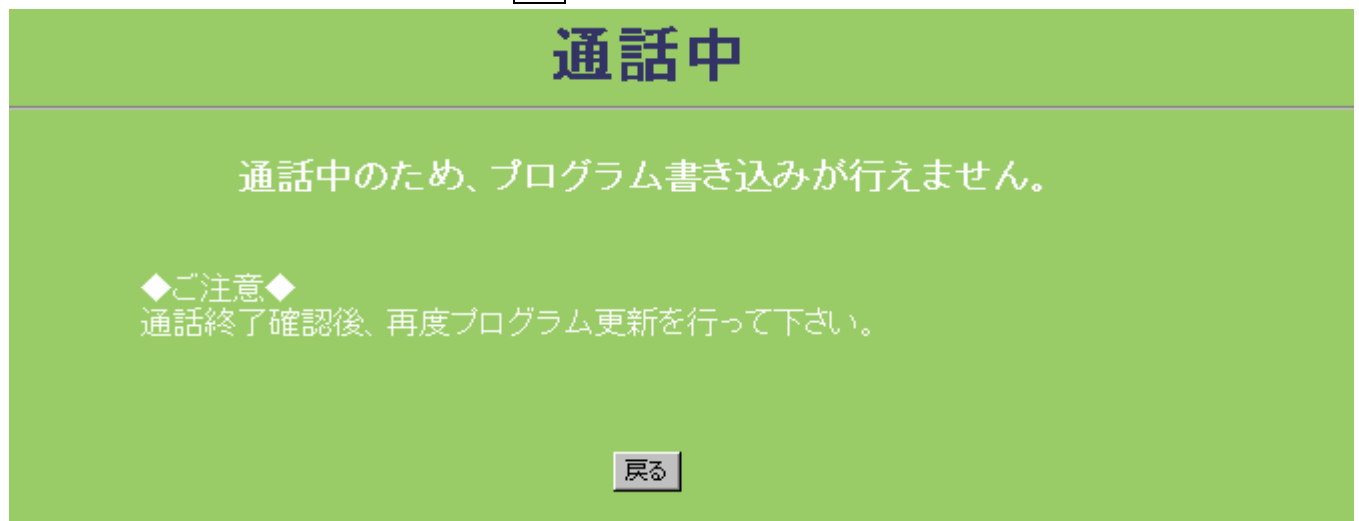
ステップ2: プログラム更新を実行し、再起動を行います。

実行中は絶対に電源を切らないで下さい。

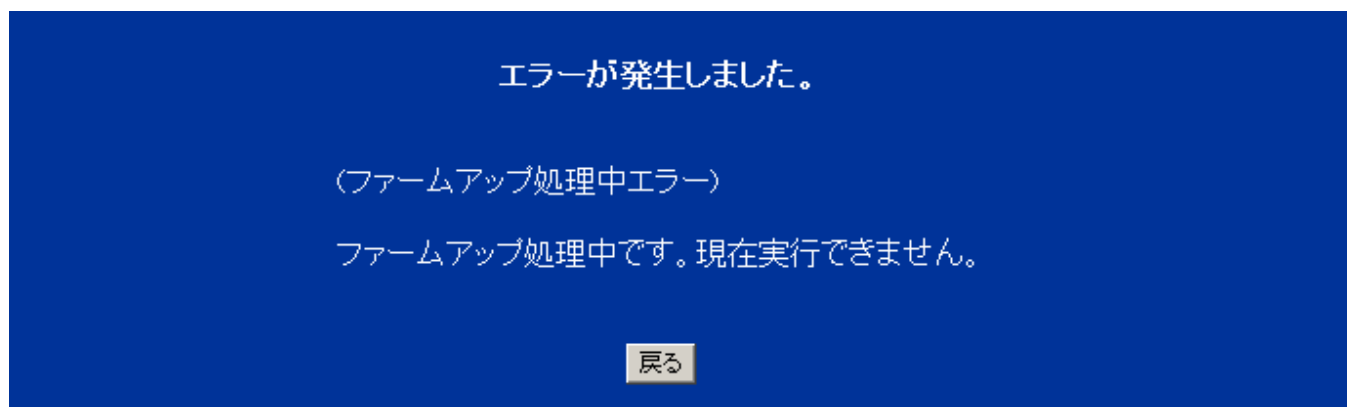
実行

4. **実行**ボタンをクリックして下さい。

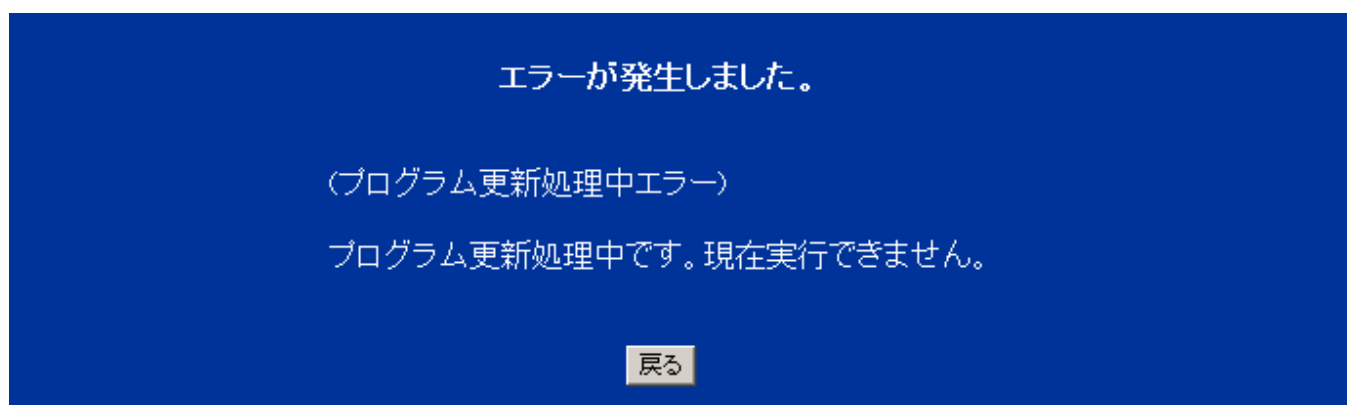
通話中の場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリックし、通話終了後に再度ステップ1から行って下さい。



ファームアップ処理中にローカルプログラム更新を実施しようとした場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック後、ローカルプログラム更新：ステップ1画面へ戻ります。



プログラム更新処理中にローカルプログラム更新を実施しようとした場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック後、ローカルプログラム更新：ステップ1画面へ戻ります。



不正なプログラムを取得した場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリックし、プログラム更新ファイルを確認後再度ステップ1から行って下さい。

### エラーが発生しました。

(プログラムダウンロードエラー)

プログラム更新画面に戻り、再度プログラム更新を行って下さい。

再度プログラムをダウンロードする必要があります。

戻る

本ユニットのリソースが不足している場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック（トップ画面へ戻ります）し、再度プログラム更新を行って下さい。

### エラーが発生しました。

(リソースチェックエラー)

本ユニットのリソースが不足しています。再起動後、再度プログラム更新を行って下さい。

戻る

本ユニットで利用することができないプログラムバージョンの場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリックし、再度プログラム更新を行って下さい。

### エラーが発生しました。

(ハードウェアバージョンチェックエラー)

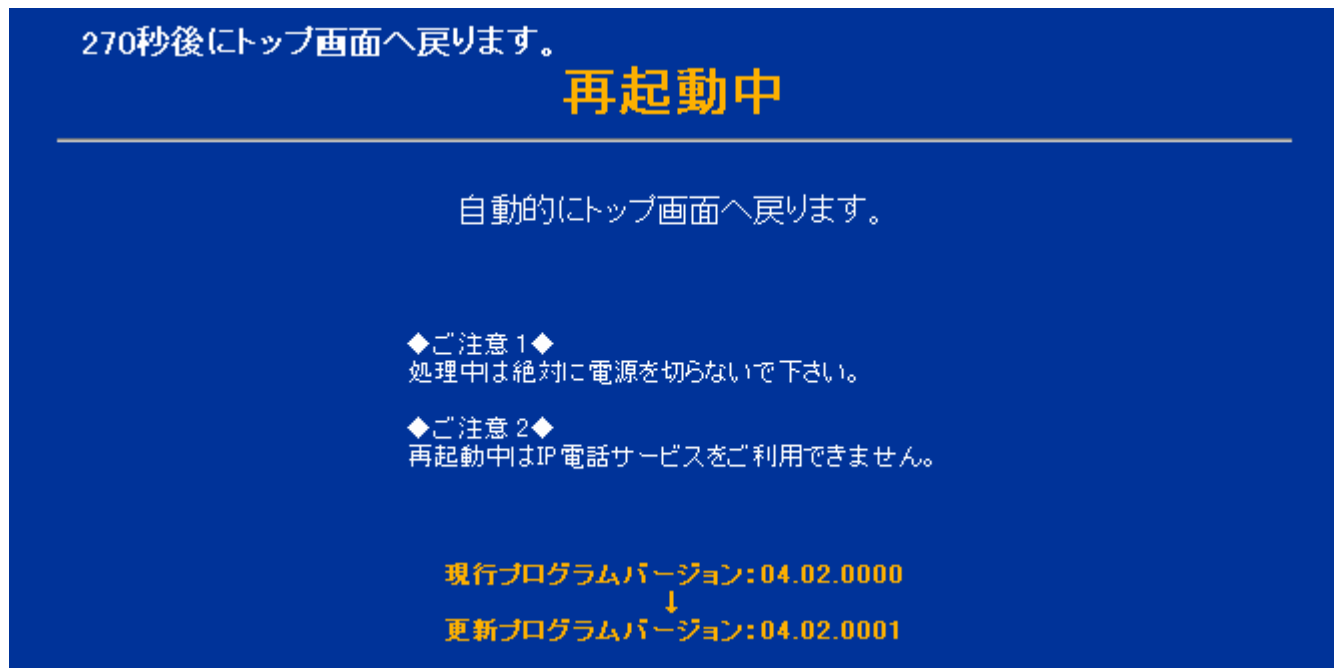
本ユニットには選択したバージョンでプログラム更新を行うことができません。

プログラム更新画面に戻り、再度プログラム更新を行って下さい。

再度プログラムをダウンロードする必要があります。

戻る

5. 実行中は以下の画面を表示します。しばらくお待ち下さい。  
(トップ画面に戻るまでの秒数はプログラム更新の内容により異なります。)



270秒後にトップ画面へ戻ります。

## 再起動中

---

自動的にトップ画面へ戻ります。

◆ご注意1◆  
処理中は絶対に電源を切らないで下さい。

◆ご注意2◆  
再起動中はIP電話サービスをご利用できません。

現行プログラムバージョン: 04.02.0000  
↓  
更新プログラムバージョン: 04.02.0001

(注意!!) この間、本装置の電源を切らないで下さい。

6. 再起動を終了するとトップ画面に戻ります。

## 2.2.1.21 自動ファームアップ設定

## 自動ファームアップ設定

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## 自動ファームアップ設定

自動ファームアップ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
取得間隔	03 日
取得開始時間	02 時 00 分 開始
サーバアドレス	firm.saxa.biz

確認

送信

## 最新ファーム取得

最新ファーム取得	実行
----------	----

表 自動ファームアップ設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<自動ファームアップ設定>			
自動ファームアップ	自動ファームアップ機能の有効/無効を設定します。	有効 / 無効	有効
取得間隔	自動ファームアップを実施する間隔を設定します。	01 日 ~ 10 日	03 日
取得開始時間	自動ファームアップを開始する時刻を設定します。 自動ファームアップ開始は設定された時間から 2 時間以内に実行されます。	00 時 00 分 ~ 23 時 59 分	02 時 00 分
サーバアドレス	サーバアドレスを設定します。	半角英数字、「-」「.」(ハイフン、ドット)からなる 1~63 文字以内。 (ただし、先頭と最後、及びドットの前後は半角英数字であること。)	firm.saxa.biz
<最新ファーム取得>			
最新ファーム取得	「実行」ボタンをクリックすると、最新ファーム取得を開始します。		

1. 今すぐファームアップを実行したい場合は、**実行**ボタンをクリックします。

最新ファーム取得

最新ファーム取得

実行

2. 実行中は以下の画面を表示します。しばらくお待ち下さい。

処理中...

ファームアップ情報取得中です。

◆ご注意 1◆

処理中は絶対に電源を切らないで下さい。

◆ご注意 2◆

通話中の場合は、通話が終了してからプログラム更新を行いますので、通話が終了するまでしばらくお待ち下さい。

ファームアップ処理中に実行した場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック後、自動ファームアップ設定画面へ戻ります。

エラーが発生しました。

(ファームアップ処理中エラー)

ファームアップ処理中です。現在実行できません。

戻る

プログラム更新処理中に実行した場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック後、自動ファームアップ設定画面へ戻ります。

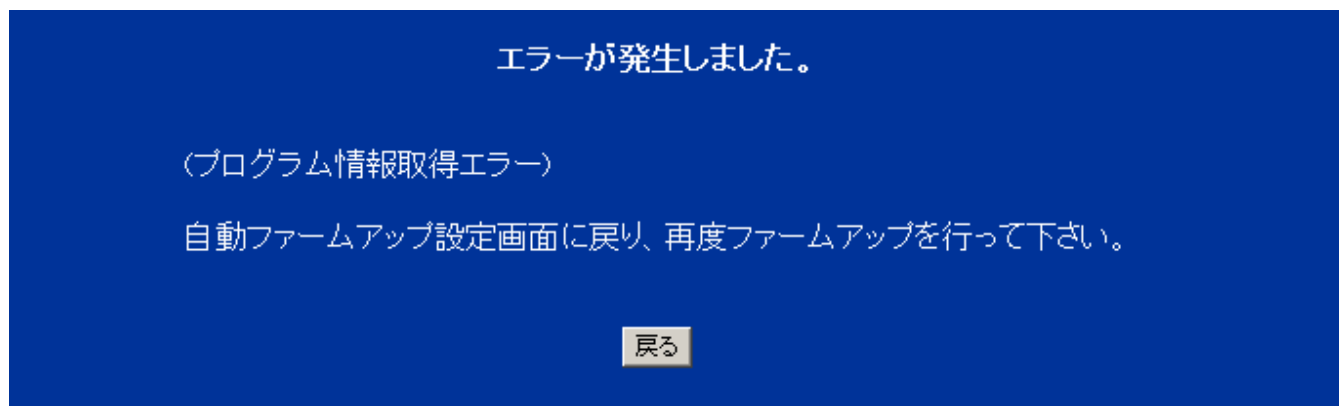
エラーが発生しました。

(プログラム更新処理中エラー)

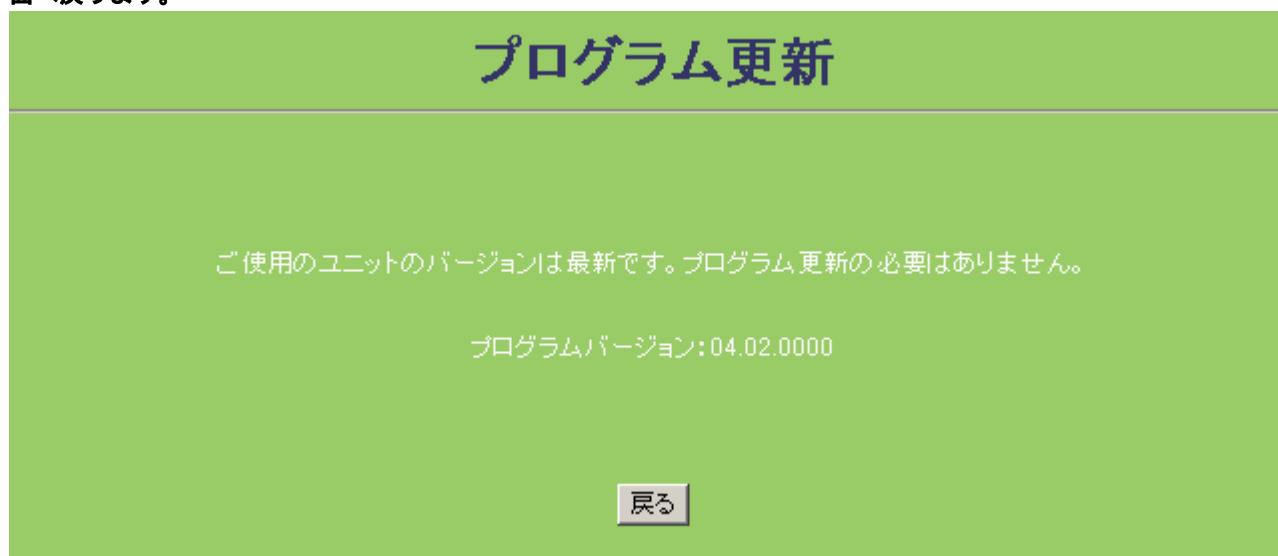
プログラム更新処理中です。現在実行できません。

戻る

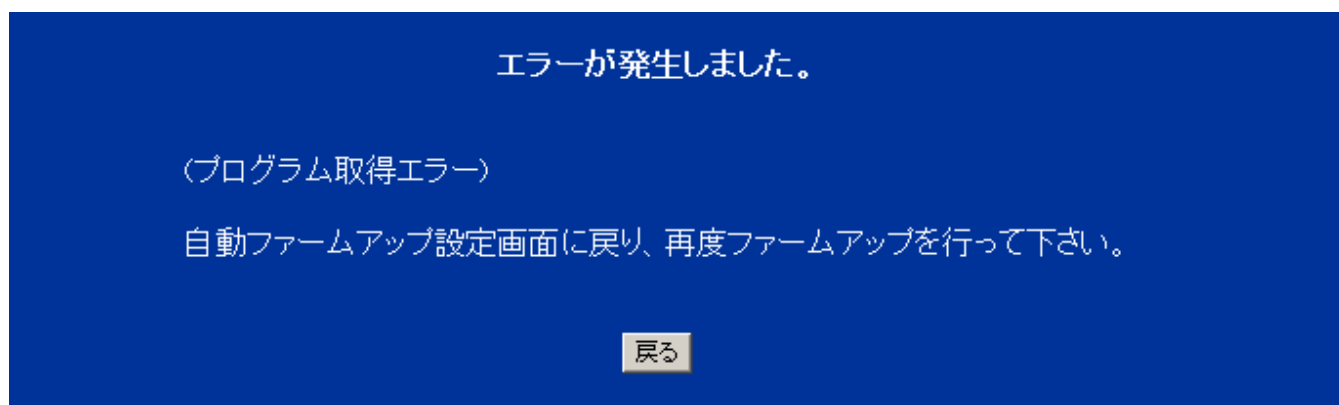
指定されたサーバアドレスからアップデート情報を正常に取得できない場合は、以下の画面を表示します。  
戻るボタンをクリック（自動ファームアップ設定画面へ戻ります）し、再度ファームアップを行ってください。



ファームアップの必要がなければ、以下の画面を表示します。戻るボタンをクリック後、自動ファームアップ設定画面へ戻ります。



指定されたサーバアドレスからプログラムを正常に取得できない場合は、以下の画面を表示します。  
戻るボタンをクリック（自動ファームアップ設定画面へ戻ります）し、再度ファームアップを行ってください。



指定されたサーバアドレスから不正なプログラムを取得した場合は、以下の画面を表示します。  
**戻る**ボタンをクリック（自動ファームアップ設定画面へ戻ります）し、再度ファームアップを行って下さい。

エラーが発生しました。

（プログラムダウンロードエラー）

自動ファームアップ設定画面に戻り、再度ファームアップを行って下さい。

再度プログラムをダウンロードする必要があります。

**戻る**

本ユニットのリソースが不足している場合は、以下の画面を表示します。**戻る**ボタンをクリック（トップ画面へ戻ります）し、再度ファームアップを行って下さい。

エラーが発生しました。

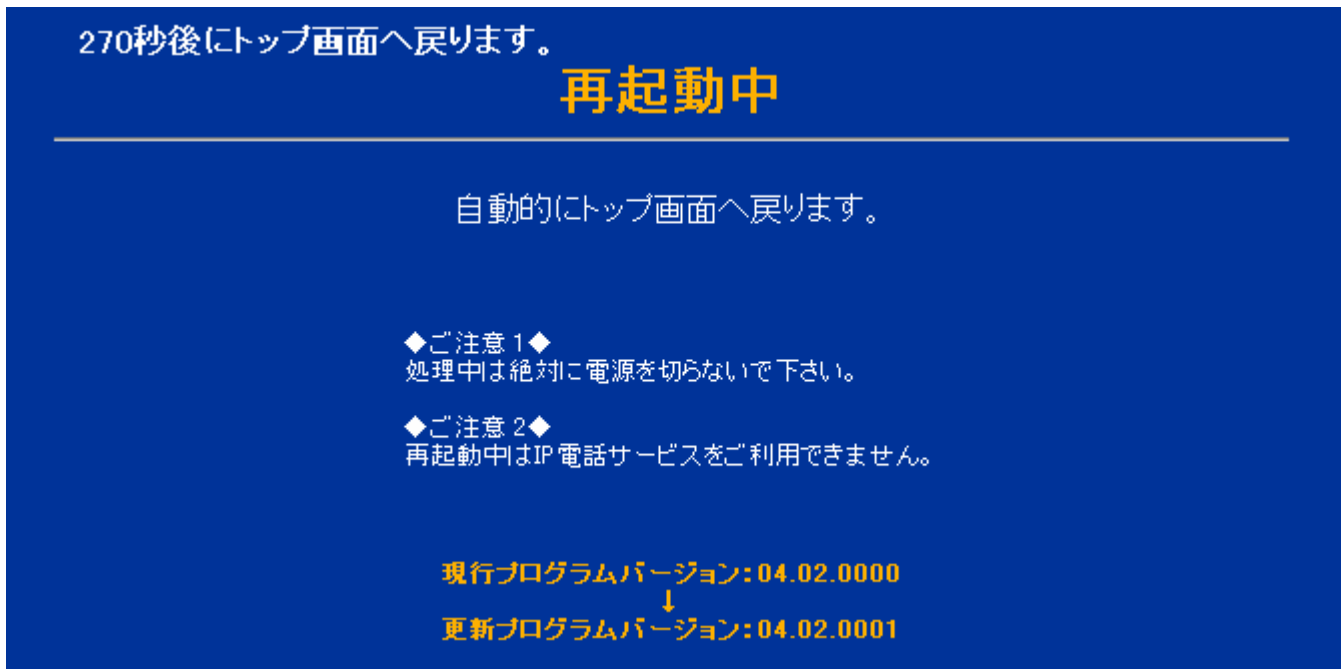
（リソースチェックエラー）

本ユニットのリソースが不足しています。再起動後、再度ファームアップを行って下さい。

**戻る**



- 3.実行中は以下の画面を表示します。しばらくお待ち下さい。  
(トップ画面に戻るまでの秒数はプログラム更新の内容により異なります。)



(注意!!) この間、本装置の電源を切らないで下さい。

- 4.再起動を終了するとトップ画面に戻ります。

## 2.2.1.22 データバックアップ

## データバックアップ

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

バックアップファイル名	<input type="radio"/> 局データ <input type="radio"/> トーン定義 <input type="radio"/> 障害ログファイル <input type="radio"/> 通話ログファイル <input type="radio"/> トラフィックログファイル
-------------	---

ファイルチェック

取得

表 データバックアップ項目詳細

設定項目	説明	選択範囲	初期値
バックアップファイル名	バックアップしたいファイル名を選択します。	局データ / トーン定義 / 障害ログファイル / 通話ログファイル / トラフィックログファイル	(選択無し)

- バックアップしたいファイル名のラジオボタンを1つチェックします。
- ファイルチェック**ボタンをクリックします。**ファイルチェック**ボタンはラジオボタンで選択したファイルがユニット内に存在しているかチェックするボタンです。
- ファイルチェック**ボタンをクリックし、ラジオボタンで選択したファイルがユニット内に存在している場合は、以下の画面のようにメッセージが表示され、**取得**ボタンが有効になります。

## データバックアップ

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

バックアップファイル名	<input checked="" type="radio"/> 局データ <input type="radio"/> トーン定義 <input type="radio"/> 障害ログファイル <input type="radio"/> 通話ログファイル <input type="radio"/> トラフィックログファイル
-------------	--

ファイルチェック

取得

局データファイルの取得が可能です。

**【注意】**拡張子“DAT”をテキストファイル形式に関連付けして下さい。  
 (すでに別のアプリケーションで関連付けされている場合はその必要はありません。)

- 取得**ボタンをクリックするとファイル保存のダイアログが表示されて、保存先を指定して保存します。

5. **ファイルチェック** ボタンをクリックし、ラジオボタンで選択したファイルがユニット内に存在しない場合は、以下の画面のようにメッセージが表示され、**取得** ボタンは有効になりません。

## データバックアップ

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

バックアップファイル名	<input checked="" type="radio"/> 局データ <input type="radio"/> トーン定義 <input type="radio"/> 障害ログファイル <input type="radio"/> 通話ログファイル <input type="radio"/> トラフィックログファイル
-------------	--

ファイルチェック

取得

局データファイルがありません。

## 2.2.1.23 再起動

## 再起動

共通

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

本ユニットの再起動を行います。

■ 設定したデータを本ユニットへ反映させ、再起動を行います。

■ 本ユニットを初期設定へ戻します。

再起動

初期設定

表 再起動項目詳細

設定項目	説明
再起動	設定したデータを本ユニットへ反映させ、再起動を行います。
初期設定	本ユニットを初期設定へ戻します。 (注意!!) 設定したデータはすべて失われます。

1. **再起動**、**初期設定** ボタンのいずれかをクリックします。

通話中の場合は、以下の画面を表示します。**戻る** ボタンをクリックし、通話終了後に再度行って下さい。

## 通話中

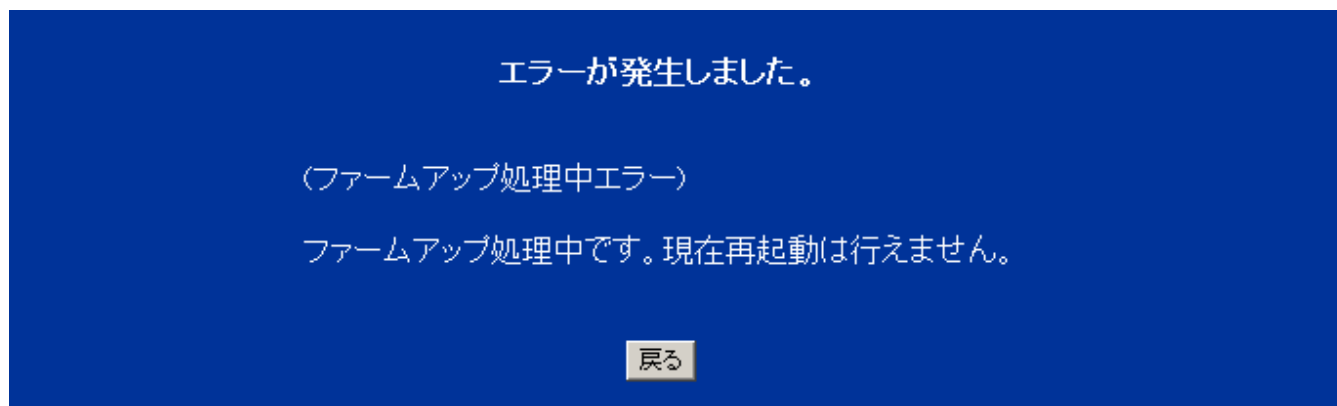
通話中のため、再起動が行えません。

◆ご注意 1◆  
再起動させるためには、  
通話が終了した後、再度再起動を行って下さい。

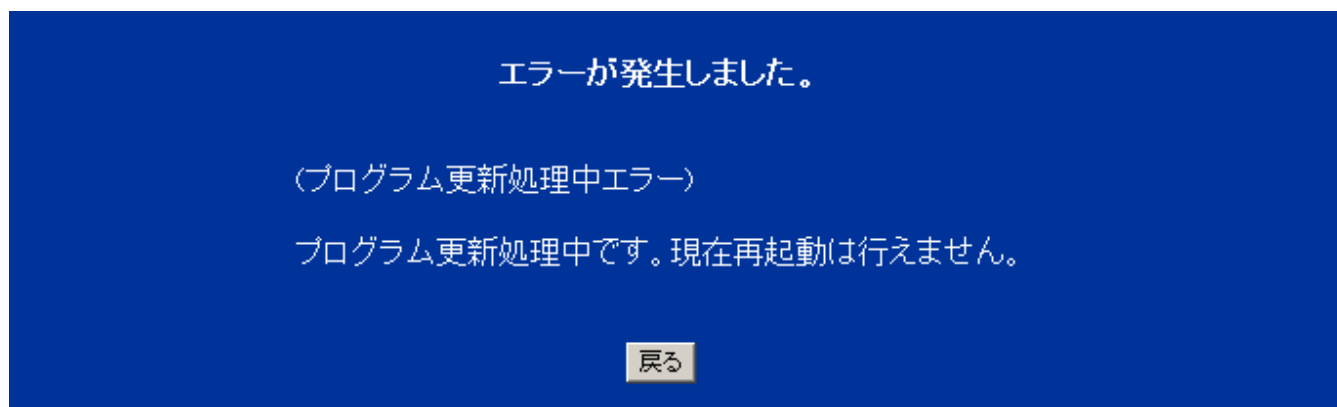
◆ご注意 2◆  
設定したデータを反映させるためには、  
通話が終了した後、再度操作したボタンをクリックして下さい。

戻る

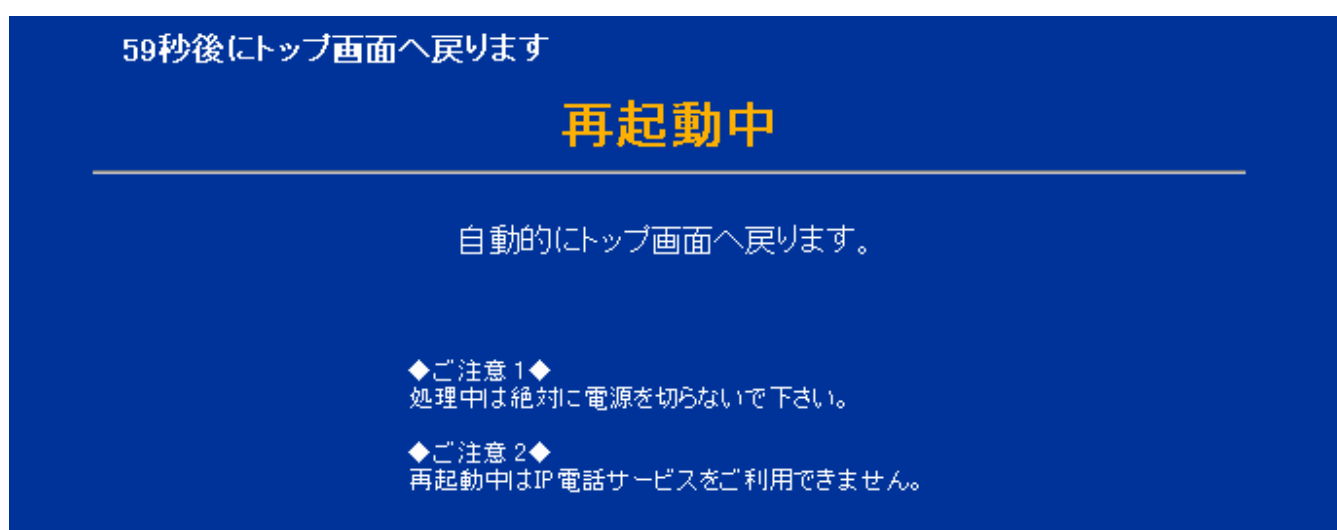
ファームアップ処理中に「再起動」、「初期設定」を実施しようとした場合は、以下の画面を表示します。  
戻るボタンをクリック後、再起動画面へ戻ります。



プログラム更新処理中に「再起動」、「初期設定」を実施しようとした場合は、以下の画面を表示します。  
戻るボタンをクリック後、再起動画面へ戻ります。



2. 実行中は以下の画面を表示します。しばらくお待ち下さい。



(注意!!) この間、本装置の電源を切らないで下さい。

3. 再起動を終了するとトップ画面に戻ります。

## 2.2.2 ルータ機能なし + 8ch の場合

以下はルータ機能なし + 8ch の場合について説明します。

## 2.2.2.1 メニュー



表 ルータ機能なし + 8ch メニュー詳細

表示項目	説明
<ルータ機能なし + 8ch メニュー>	
トップメニュー	ログイン後、「ネットワーク設定、IP 電話設定、状態表示、再起動」クリック時、再起動後に表示するメニューです。
カスタム設定メニュー	「カスタム設定」クリック時に表示するメニューです。
ログ表示メニュー	「ログ表示」クリック時に表示するメニューです。
保守メニュー	「保守」クリック時に表示するメニューです。
<ボタン>	
反映	「反映」ボタンをクリックすると、設定したデータを本ユニットへ反映させ、再起動を行います。 詳細はルータ機能あり + 2ch と同様です。「2.2.1.1 メニュー」を参照して下さい。

## 2.2.2.2 ネットワーク設定

## ネットワーク設定

ルータ機能なし + 8 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## 動作モード設定

動作モード 

## IPアドレス設定

LAN側 IPアドレス LAN側 サブネットマスク グローバルIPアドレス  UPnP CP有効  UPnP CP無効 DNSサーバアドレス デフォルトゲートウェイ 

## ポート設定

LAN ポート1 LAN ポート2 LAN ポート3 

確認

送信

表 ネットワーク設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<動作モード設定>			
動作モード	動作モードを選択します。	固定 IP / DHCP	DHCP
<IP アドレス設定>			
LAN 側 IP アドレス	LAN 側 IP アドレスを設定します。 動作モードが「DHCP」の場合、この情報は使用されません。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	192.168.1.252
LAN 側サブネットマスク	LAN 側サブネットマスクを設定します。 動作モードが「DHCP」の場合、この情報は使用されません。	128.0.0.0 ~ 255.255.255.255	255.255.255.0
グローバル IP アドレス	UPnP CP 有効/無効を選択します。	有効 / 無効	UPnP CP 有効
	グローバル IP アドレスを設定します。 UPnP CP 無効で、グローバル IP アドレス未設定の場合、LAN 側 IP アドレスがグローバル IP アドレスとなります。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
DNS サーバ アドレス	DNS サーバ アドレスを設定します。 動作モードが「DHCP」の場合、この情報は使用されません。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。 動作モードが「DHCP」の場合、この情報は使用されません。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255	(空白)
<ポート設定>			
LAN ポート1~3	各ポートの装置内部の通信速度、動作モードを設定します。 通常は、「自動」(初期値)のままで使用して下さい。	自動認識 / 100M 全二重 / 100M 半二重 / 10M 全二重 / 10M 半二重	自動認識

## 2.2.2.3 IP 電話設定

## IP電話設定

ルータ機能なし + 8 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## IP電話設定

市外局番 

## SIP設定

SIPドメイン SIP REGISTERサーバアドレス SIP プロキシサーバアドレス アカウントID 1 パスワード 1  確認 アカウントID 2 パスワード 2  確認 アカウントID 3 パスワード 3  確認 アカウントID 4 パスワード 4  確認 アカウントID 5 パスワード 5  確認 アカウントID 6 パスワード 6  確認 アカウントID 7 パスワード 7  確認 アカウントID 8 パスワード 8  確認 

## SIPポート番号設定

自装置ポート番号 RTPポート番号(UDP受信開始) 

## セッションタイム機能設定

セッションタイム



表 IP 電話設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<b>&lt;IP 電話設定&gt;</b>			
市外局番	市外局番を設定します。	半角文字で「0~9」「*」「#」 (6桁以内)	(空白)
<b>&lt;SIP 設定&gt;</b>			
SIP ドメイン	SIP ドメインを設定します。	半角英数字、「-」「.」(ハイフン、ドット)からなる1~63文字以内。 (ただし、先頭と最後、及びドットの前後は半角英数字であること。)	(空白)
SIP REGISTER サーバアドレス	SIP REGISTER サーバアドレスを設定します。	(1)IP アドレスで入力 0.0.0.1 ~ 255.255.255.255 (2)ドメイン名で入力	(空白)
SIP プロキシ サーバアドレス	SIP プロキシサーバアドレスを設定します。	半角英数字、「-」「.」(ハイフン、ドット)からなる1~63文字以内。 (ただし、先頭と最後、及びドットの前後は半角英数字であること。)	(空白)
アカウント ID 1~8	アカウント ID を設定します。	0x22「」、0x2C「」、および0x3B「;」 を除く ASCII コード 0x21~0x7E の 範囲で1~32文字以内	(空白)
パスワード 1~8	パスワードを設定します。	0x22「」、0x2C「」、および0x3B「;」 を除く ASCII コード 0x21~0x7E の 範囲で1~63文字以内	(空白)
パスワード確認 1~8	確認のため、再度「パスワード」を設定 します。	0x22「」、0x2C「」、および0x3B「;」 を除く ASCII コード 0x21~0x7E の 範囲で1~63文字以内	(空白)
<b>&lt;SIP ポート番号設定&gt;</b>			
自装置ポート番号	SIP 通信で使用するメッセージ用のポ ート番号を設定します。	1 ~ 65531 (自装置 SIP ポート番号は、RTP ポ ート番号の予約範囲値と重ならない こと。)	5060
RTP ポート番号 (UDP 受信開始)	RTP/RTCP、FAX 通信のために必要なポ ート番号の予約範囲の先頭を設定します。 RTCP ポート番号は RTP ポート番号+1 になります。	1 ~ 65480 (予約範囲は指定した RTP ポート番 号から指定した RTP ポート番号+50 までとする。)	5004
<b>&lt;セッションタイム機能設定&gt;</b>			
セッションタイム	セッションタイム機能の無効/有効を設 定します。	無効/有効	無効

**補足説明：**パスワードを変更する場合は、パスワード/パスワード確認の"\*"で表示されている内容を全てクリアし、再度入力して下さい。

## 2.2.2.4 パケットフィルタ設定

## パケットフィルタ設定

ルータ機能なし + 8 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## ステルスモード設定

TCPステルスモード	有効 ▼
UDPステルスモード	有効 ▼
ICMPステルスモード	無効 ▼

確認

送信

表 パケットフィルタ設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<ステルスモード設定>			
TCP ステルスモード	各プロトコルのLAN側から本ユニットへのアクセスに応答するかどうかを設定します。	無効 / 有効	有効
UDP ステルスモード			有効
ICMP ステルスモード			無効

#### 2.2.2.5 DHCP 設定

ルータ機能あり +2ch と同様です。「2.2.1.7 DHCP 設定」を参照して下さい。

#### 2.2.2.6 音声設定

ルータ機能あり +2ch と同様です。「2.2.1.12 音声設定」を参照して下さい。

## 2.2.2.7 優先制御設定

## 優先制御設定

ルータ機能なし + 8 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## TOS値設定

音声	0x	<input type="text" value="E0"/>
呼制御	0x	<input type="text" value="E0"/>

確認

送信

表 優先制御設定項目詳細

設定項目	説明	設定範囲	初期値
<TOS 値設定>			
音声	IP パケットのヘッダにある TOS フィールドの値を設定します。 この設定により、音声パケットの優先度を設定できます。	0x00 ~ 0xFF (該当Bit 位置をHex で設定します。 「0~9、A~F」) 「補足資料：TOS フィールド」参照	E0
呼制御	IP パケットのヘッダにある TOS フィールドの値を設定します。 この設定により、呼制御パケットの優先度を設定できます。		E0

## 補足資料：TOS フィールド

## [ 機能仕様 ]

- ・ TOS値の入力は16進数によって設定する。
- ・ TOSフィールドは8ビットあり、最下位ビットは無効です。

## &lt;TOSフィールド&gt;

0	1	2	3	4	5	6	7	(bit)
P	D	S	R	C	0			

P: 優先権 / D: 遅延優先 / S: スループット優先 / R: 信頼性優先 / C: コスト優先

## 2.2.2.8 状態表示

## 状態表示

ルータ機能なし + 8 ch

(FUSION IP-Phone版)

ヘルプ?

## バージョン

プログラムバージョン	04.00.0000
------------	------------

## 動作状態

ルータスイッチ	OFF
DSP 状態	正常
VoIP(1)回線状態	通話中
VoIP(2)回線状態	通話可能
VoIP(3)回線状態	通話可能
VoIP(4)回線状態	通話可能
VoIP(5)回線状態	通話可能
VoIP(6)回線状態	通話可能
VoIP(7)回線状態	通話可能
VoIP(8)回線状態	通話不可
UPnP CP 状態	正常
DHCP 状態	正常

## ポート状態

P1 状態	接続
P2 状態	接続
P3 状態	未接続
WAN 状態	接続

## MACアドレス

LAN側 MACアドレス	00:02:2B:AX:XX:XX
WAN側 MACアドレス	00:02:2B:AY:YY:YY

## ネットワーク

LAN側 IPアドレス	192.168.2.1
LAN側 サブネットマスク	255.255.255.0
グローバルIPアドレス	172.21.10.152
DNSサーバアドレス	10.190.123.3
デフォルトゲートウェイ	172.21.10.1
REGISTERサーバ アドレス	10.190.123.2
DHCPサーバ アドレス	10.190.123.4

表 状態表示項目詳細

表示項目	説明
<バージョン>	
プログラムバージョン	本ユニットのプログラムバージョンを表示します。
<動作状態>	
ルータスイッチ	本ユニット起動時のルータスイッチの状態により、ルータ機能の ON(有効)/OFF(無効)を表します。 「ON」 : 本ユニットはルータ機能が有効です。 「OFF」 : 本ユニットはルータ機能が無効です。 運用中にルータスイッチを切り替えてもルータスイッチの状態及びルータ機能の有無は変更されません。
DSP 状態	信号変換制御部の状態を表示します。 「正常」 : 通常は「正常」と表示します。 「異常」 : 本ユニットの電源を入れ直して下さい。 「起動中」 : 信号変換制御部は起動中です。
VoIP 回線状態 (1~8)	IP 電話の利用状況を表示します。 「通話可能」 : 未使用(通話待ち)です。 「通話中」 : 通話中です。 「通話不可」 : 使用不可能です。
UPnP CP 状態	UPnP CP の状態を表示します。 「正常」 : UPnP CP は正常です。 「異常」 : UPnP CP は異常又は、起動中です。 「未使用」 : UPnP CP 機能は未使用です。
DHCP 状態	DHCP の状態を表示します。 「正常」 : DHCP クライアント機能は正常です。 「異常」 : DHCP クライアント機能は起動中又は、異常です。 「未使用」 : DHCP クライアント機能は未使用です。
<ポート状態>	
P1~P3 状態	P1~P3 の LAN ポート状態を表示します。 「接続」 : LAN ポートにケーブルが正しく接続されている状態です。 「未接続」 : LAN ポートにケーブルが正しく接続されていない状態です。
WAN 状態	WAN ポート状態を表示します。 「接続」 : WAN ポートにケーブルが正しく接続されている状態です。 「未接続」 : WAN ポートにケーブルが正しく接続されていない状態です。
<MAC アドレス>	
LAN 側 MAC アドレス	本ユニットの LAN 側 MAC アドレスを表示します。
WAN 側 MAC アドレス	本ユニットの WAN 側 MAC アドレスを表示します。
<ネットワーク>	
LAN 側 IP アドレス	使用中の LAN 側 IP アドレスです。
LAN 側 サブネットマスク	使用中の LAN 側サブネットマスクです。
グローバル IP アドレス	使用中のグローバル IP アドレスです。
DNS サーバアドレス	使用中の DNS サーバアドレスです。
デフォルトゲートウェイ	使用中のデフォルトゲートウェイです。
REGISTER サーバアドレス	使用中の REGISTER サーバ アドレスです。
DHCP サーバ アドレス	使用中の DHCP サーバ アドレスです。 (動作モードが"DHCP"以外の場合は、"0.0.0.0"を表示します。)

#### 2.2.2.9 障害ログ表示

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.15 障害ログ表示」を参照して下さい。

#### 2.2.2.10 通話ログ表示

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.16 通話ログ表示」を参照して下さい。

#### 2.2.2.11 トラフィックログ表示

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.17 トラフィックログ表示」を参照して下さい。

#### 2.2.2.12 Ping 送信

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.18 Ping 送信」を参照して下さい。

#### 2.2.2.13 プログラム更新

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.19 プログラム更新」を参照して下さい。

#### 2.2.2.14 ローカルプログラム更新

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.20 ローカルプログラム更新」を参照して下さい。

#### 2.2.2.15 自動ファームアップ設定

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.21 自動ファームアップ設定」を参照して下さい。

#### 2.2.2.16 データバックアップ

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.22 データバックアップ」を参照して下さい。

#### 2.2.2.17 再起動

ルータ機能あり+2ch と同様です。「2.2.1.23 再起動」を参照して下さい。

### 2.2.3 ダイアログの説明

操作中表示されるダイアログについて説明します。

#### 1. エラーダイアログ

表示内容	説明
<b>&lt; 共通 &gt;</b>	
値を入力して下さい。	この項目は省略できません。値を入力して下さい。
範囲外の値が入力されています。 設定範囲は画面右上の「ヘルプ?」をご覧ください。	入力した値が設定範囲外です。入力内容を確認して下さい。
範囲外の記号が入力されています。 設定範囲は画面右上の「ヘルプ?」をご覧ください。	入力した内容に指定できない文字が含まれています。 入力内容を確認して下さい。
範囲外の文字が入力されています。 設定範囲 [ ASCII 0x21 ~ 0x7E ] (;セミコロン "ダブルクォーテーションを除く)	入力した内容に指定できない文字が含まれています。 入力内容を確認して下さい。
範囲外の文字が入力されています。 設定範囲 [ ASCII 0x21 ~ 0x7E ] (;セミコロン "ダブルクォーテーション ,カンマを除く)	入力した内容に指定できない文字が含まれています。 入力内容を確認して下さい。
不正な IP アドレスです。	入力した IP アドレスは正しくありません。 入力内容を確認して下さい。
このネットマスクは不正です。	入力したネットマスクは正しくありません。 入力内容を確認して下さい。
セレクトメニューから項目を 1 つ選択して下さい。 1 ~ ? と重複しています。	変更及び削除する内容が選択されいません。選択して下さい。 セレクトメニュー内に既に同じ設定の内容が存在します。 入力内容を確認して下さい。
パスワードとパスワード確認が一致していません。	入力したパスワードとパスワード確認の内容が一致していません。 入力内容を確認して下さい。
<b>&lt; ネットワーク設定 / DHCP サーバ設定 &gt;</b>	
DHCP サーバで割り当てる IP アドレスは「LAN 側 IP アドレス」と同じネットワークを指定して下さい。	DHCP サーバで割り当てる IP アドレスは、「LAN 側 IP アドレス」と同じネットワークにする必要があります。入力内容を確認して下さい。
「割り当て開始 IP アドレス」は「LAN 側 IP アドレス」と同じ IP アドレスを指定できません。	DHCP サーバで割り当てる IP アドレスの範囲と「LAN 側 IP アドレス」が重なっています。入力内容を確認して下さい。
「割り当て終了 IP アドレス」は「割り当て開始 IP アドレス」よりも大きな IP アドレスを指定して下さい。	DHCP サーバで割り当てる IP アドレスの範囲指定が正しくありません。 入力内容を確認して下さい。
割り当て IP アドレスの範囲に「LAN 側 IP アドレス」と同じ IP アドレスが含まれています。	DHCP サーバで割り当てる IP アドレスの範囲と「LAN 側 IP アドレス」が重なっています。入力内容を確認して下さい。
<b>&lt; IP 電話設定 / SIP 設定 &gt;</b>	
SIP 設定の認証 ID(アカウント ID、パスワード)を入力して下さい。	SIP 設定の認証 ID(アカウント ID、パスワード)は省略できません。SIP 設定の認証 ID を入力して下さい
アカウント ID 1~7 と重複しています	アカウント ID が重複しています。入力内容を確認して下さい。
<b>&lt; SIP 設定/SIP ポート番号設定 &gt;</b>	
自装置ポートが予約された RTP ポート (UDP 受信用ポート) に重なっています。詳しくはヘルプを参照して下さい。	RTP ポート番号の予約範囲は RTP ポート番号 (UDP 受信開始) から RTP ポート番号 (UDP 受信開始) +50 までです。 自装置ポート番号と RTP ポート番号の入力内容を確認して下さい。
<b>&lt; IP フィルタ設定 / パケットフィルタ規則 &gt;</b>	
方針を選択して下さい。	方針が選択されていません。選択して下さい。
プロトコルを選択して下さい。	プロトコルが選択されていません。選択して下さい。
入力インタフェースを選択して下さい。	入力インタフェースが選択されていません。選択して下さい。
出力インタフェースを選択して下さい。	出力インタフェースが選択されていません。選択して下さい。
送信元アドレスを選択して下さい。	送信元アドレスが選択されていません。選択して下さい。
送信先アドレスを選択して下さい。	送信先アドレスが選択されていません。選択して下さい。
送信先ポートを選択して下さい。	送信先ポートが選択されていません。選択して下さい。
<b>&lt; PPPoE 設定 / 動作設定 &gt;</b>	
停止処理中です。実行できません。	PPPoE 停止処理中です。 PPPoE の起動及び停止は実行できません。
シャットダウン状態です。実行できません。	本ユニットはシャットダウン状態です。 PPPoE の起動及び停止は実行できません。
リブート中です。実行できません。	本ユニットはリブート中です。 PPPoE の起動及び停止は実行できません。
ファームアップ中です。実行できません。	本ユニットはファームアップ中です。 PPPoE の起動及び停止は実行できません。
動作モードは「PPPoE+ルータモード」以外に変更されています。実行できません。	動作モードは「PPPoE+ルータモード」以外に変更されています。 PPPoE の起動及び停止は実行できません。
通話中のため、実行できません。	現在通話中です。PPPoE の起動及び停止は実行できません。



< PPPoE 設定 / ログイン情報 その1~その4 >	
ネットワーク設定の動作モードで PPPoE モードが設定されています。 ログイン情報から「接続する」を1つ選択して下さい。	動作モードが「PPPoE+ルータモード」の場合は、ログイン情報から「接続する」を1つ選択する必要があります。
< NAPT 設定 / 静的 NAPT 設定 (ポート転送規則) >	
プロトコル種別を選択して下さい。	プロトコル種別が選択されていません。選択して下さい。
< ルーティングテーブル設定 / スタティックルーティング設定 >	
宛先ネットワークアドレスとマスク長の組合せが正しくありません。 設定値は画面右上の「ヘルプ?」をご覧ください。	宛先ネットワークアドレスとマスク長の組合せが正しくありません。 入力内容を確認して下さい。
< 音声設定 / オーディオ能力 >	
オーディオ能力 (G.711 $\mu$ -law) と (G.711 A-law) が重複しています。	オーディオ能力 (G.711 $\mu$ -law) と (G.711 A-law) が重複しています。 選択内容を確認して下さい。
オーディオ能力 (G.711 $\mu$ -law) が 無効 場合、(G.711 A-law) に優先順位 2 は指定できません。	優先順位の組合せに"無効"と"2" は指定できません。 (優先順位 1 は必ず選択して下さい。)
オーディオ能力 (G.711 A-law) が 無効 場合、(G.711 $\mu$ -law) に優先順位 2 は指定できません。	
< データバックアップ >	
バックアップするファイルを1つ選択して下さい。	バックアップするファイルを1つ選択して下さい。

## 2. 確認ダイアログ

< 標準設定 >	
ネットワーク設定の動作モードで固定 IP+ルータモードが設定されています。 標準設定を行なうと自動的に PPPoE + ルータモードへ切り替わります。 よろしいですか?	「標準設定」画面の確認ボタン押下時に表示される確認メッセージです。
ネットワーク設定の動作モードで DHCP+ルータモードが設定されています。 標準設定を行なうと自動的に PPPoE + ルータモードへ切り替わります。 よろしいですか?	
< 自動ファームアップ設定 / 最新ファーム取得 >	
最新ファームを取得します。よろしいですか?	「自動ファームアップ設定」画面の「実行」ボタン押下時に表示される確認メッセージです。
< 再起動 >	
設定したデータを本ユニットへ反映し、再起動を行います。 よろしいですか? 再起動後、設定したデータが反映されます。	メニューの「反映」ボタン押下時、「再起動」画面の「再起動」ボタン押下時に表示される確認メッセージです。
本ユニットを初期設定へ戻し、再起動を行います。 よろしいですか? 設定したデータはすべて失われます。	